(公)
田中武雄提出
最近ノ対外政策（関係）ニ関スル質問関係

REEL No. A-0559

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

本質問ニ對シテハ大臣ニ於テ近日中議会ニ口頭答弁セラルルコトニ打合セ済ノ趣ニテ、別ニ書面答弁ヲ必要トセザルモノナリ。
二月廿五日
大村(?)ヨリ受取

分類 A門 類 項 目

秘

昭和十年二月二十五日

内閣總理大臣 岡田啓介

外務大臣 廣田弘毅殿

別紙衆議院議員田中武雄提出質問書ハ貴省主管ノ件ニ付右謄本及回付候

内閣

帝国議会関係雑件 質問答弁関係

田中武雄提出最近ノ對外関係ニ關スル質問主意書

右議院法第四十九條ニ依リ及轉送候也

昭和十年二月二十五日

衆議院議長 濱田國松

内閣總理大臣 岡田啓介殿

REEL No. A-0559

0007

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

7

昭和十年二月二十三日提出
質問第七號

最近ノ對外關係ニ關スル質問主意書

右成規ニ據リ提出候也

昭和十年二月二十三日

提出者　田中武雄

賛成者

坂東幸太郎　永田善三郎　工藤鐵男　松尾四郎

牧山耕藏　木檜三四郎　一松定吉　大麻唯男

勝田永吉　頼母木桂吉　武富濟　中島彌團次

鵜澤宇八　荒川五郎　戸井嘉作　飯塚春太郎

REEL No. A-0559

0008

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

横山金太郎　増田義一　原吉郎　原淳一郎
豊田豊吉　岡田喜久治　大島寅吉　高野喜六
武知勇記　中山福藏　內藤正剛　村松久義
眞鍋儀十　福田關次郎　駒井重次　齋藤直橘
清寛

最近ノ對外關係ニ關スル質問主意書

近時對外關係ハ一層重大性ヲ帶フルニ至レルモノト認ム之ニ對スル政府ノ所見如何

右及質問候也

REEL No. A-0559
0009
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

ルナラバ、私ハ政治的ノ生命ヲ無クスル（「何ヲ言ッテ居ルンダ」ト呼フ者アリ）事實デナケレバ岡田總理大臣自ラガ綱紀肅正ヲ叫ブ資格ナシト云フコトニナル、何ヲ言ッテ居ルヂヤナイ、私ハ政治的生命ヲ賭ケテ言明シテ居ル、又ソレデナケレバ綱紀問題ハ取扱フベキモノデハナイト云フ確信ヲ有ッテ居ル、議會ハ此黑白ヲ明ニスベキ義務ガアルト云フコトヲ、私ハ諸君ニ申上ゲナケレバナラヌ、尚ホ岡田總理大臣ニ對シテハ、私ハ能ク御記憶ヲ御覺マシニナラレテ、冷靜ニ能ク御考ニナッテ、一度衆議院デ言明ナサレタコトヲ、後カラ取消スヤウナ態度ハ甚ダ遺憾デアルカラ、右ノヤウナ趣ヲ申上ゲテ置キタイ、私バカリデハナイ、國民同盟ニ席ヲ置イテ居ラレル方ノ中ニモ此事實ハ大分御承知ノコトデモアリ、尚ホ其當時ノ委員デ、當時出席セラレテ居ッタ方々ハ知ッテ居ラレル、大分大勢ノ方ニ確メタ上デ私ハ言ッテ居ルノデアリマスカラ、右ノ趣ヲ申上ゲテ私ノ質問ハ打切リマス（拍手）

○議長（濱田國松君）　質問第三、最近ノ對外關係ニ關スル質問ヲ許可致シマス――提出者田中武雄君

三　最近ノ對外關係ニ關スル質問（田中武雄君提出）

最近ノ對外關係ニ關スル質問主意書

右成規ニ據リ提出候也

昭和十年二月二十三日

提出者　田中　武雄

最近ノ對外關係ニ關スル質問主意書

近時對外關係ハ一層重大性ヲ帶フルニ至レルモノト認ム之ニ對スル政府ノ所見如何

右及質問候也

（田中武雄君登壇）

○田中武雄君　私ハ最近ノ對外關係ノ特ニ其重要性ニ鑑ミマシテ、極ク簡單ニ外務大臣ニ御伺致シタイト存ジマスルカラ、何卒明瞭ナル御返答ヲ願ヒタイト存ズルノデアリマス、我ガ對外方針ノ大要ニ付キマシテハ、議會ノ初頭ニ於キマシテ、外務大臣ノ方針ノ御演説ニ於テ大體ヲ承知ヲ致シテ居リマス、又各種ノ機會ニ於キマシテ、外務大臣ノ御話ニ依リマシテ、或ハ御答辯ニ依リマシテ、斷片的ニハ承知ヲ致シテ居ルノデゴザイマスルガ、本日ハ單ニ御抱負御經綸ト申シマスルヨリハ、實際ノ對外工作ニ付キマシテ、ドウ云フ手段ヲ御執リニナラントスルカト云フ點ヲ御伺シタイノデアリマス

今ヤ軍備ノ充實ハ益〻急ヲ告ゲマシテ、爲ニ財政ハ非常ニ困難ニ陷リ、サウシテ經濟ハ益〻壓迫ヲ蒙ッテ、人心ハ不安ニ相成ッテ居リマス、此秋ニ於キマシテ國民ハ何ヲ考ヘテ居ルカ、此難局ハ先ヅ外交工作ニ依リマシテ、サウシテ一日モ早ク此重壓ヲ免レタイト云フコトヲ望ンデ居ルノガ、今日ノ國民ノ通念デアルト私ハ思フノデアリマス（拍手）現ニ國際聯盟ヲ名實共ニ脫退スル所ノ時機ハ眼ノ前ニ迫ッテ居ル、ソレカラ軍縮問題ハ、何トカ結論ヲ付ケナケレバナラヌ時機ハ眼ノ前ニ來テ居ルノデアリマス、此狀況ヲ前ニ致シマシテ、吾々ハ斷ジテ暢氣ナコトヲ言ッテハ居ラレヌノデアリマス、併シ此外交ニ關シマシテハ、固ヨリ非常ニ微妙デアリ、諸種ノ關係ガゴザイマスルカラ、輕卒ニ之ヲ批評ヲ致シマシタリ、或ハ無暗ニ苛ラ〱スルコトハ、私ハ甚ダ考ヘ物ダト思フノデアリマスルガ、外務當局ハ此眼前ノ事實ニ即シマシテ、ソレ〱相當ナル御工作ガナケレバナラヌト思フノデアリマスルガ、併シ吾々ノ眼前ニ出テ居リマスル事實ヲ靜ニ觀マスル時ニ、屢〻御言明ニナリマシタニ拘ラズ、此期待ト要望ニ副ハナイ事態ニ在ルノデハナイカト云フヤウナ感ジガ國民ノ間ニアルコトハ、頗ル遺憾ニ思フノデアリマス（拍手）例ヘバ通商問題ニ付キマシテモ、日蘭間ニ於ケル問題ノ如キハ、事實上決裂ノ狀態トナリ、又ハ其他ノ諸國間トノ貿易均衡ニ關シマスル所ノ處置ノ如キモ、遲々トシテ捗ラズ、又國民ガ最モ重點ヲ置イテ居リマスル所ノ軍縮ノ豫備交渉モ、軍備縮少ノ原則ニ於テ一致シタト云フ以外ニハ、何等進展ヲ示サナイト云フヤウナ事實ヲ一々指摘致シマシテ、茲ニ御質問申上ゲルコトハ控ヘタイト存ズルノデゴザイマシテ、今日此場合吾々ガ當面セル、サウシテ又進展狀態ニアリト存ジマスル對米、對支、對露ノ三問題ニ付キマシテ、政府ノ處置方ニ付テ御尋ヲ致シタイト存ズルノデアリマス

（議長退席、副議長著席）

先ヅ第一ニ亞米利加ニ關スル問題デゴザイマスルガ、是ハ先般外務大臣ノ口ヨリ、日米ノ間ハ益〻其親善ノ度ヲ加ヘツヽアリト云フコトヲ、度々仰セニナッテ居リマス、又私共ノ知ル範圍ニ於キマシテハ、大體ニ於テ左樣信ゼラル、ノデゴザイマスルガ、又サウ云フ空氣デアルト思フノデアリマスルガ、空氣ハ左樣デアルガ、行動ハ左樣デナイ澤山ノ點ヲ有ッテ居ルノデアリマス、又左樣ニ感ゼラレルノデアリマス、サウシテ此際軍縮問題ヲ前ニ控ヘマシテ、亞米利加ノ軍部ガドウ云フ行動ヲ取ッタカ、ドウ云フ計畫ヲ有ッテ居ルト云フヤウナコトニ及ボシマスルコトハ、此際相控ヘタイト存ズルノデゴザイマスルガ、彼ノ「アリゾナ」州及「カリフオルニヤ」州ノ、我ガ邦人土地所有權ニ關スル問題ノ如キハ、其著シキ一例デアルト私ハ思フノデアリマス、申ス迄モナク是ハ兩國ノ親善關係ヲ以テ行カナケレバナラヌト云フコトハ、是ハ兩國ニ對スル重イ負擔デアル、重イ負擔デアリマシテ同時ニ又責任デアル、日本ト亞米利加トガ、本當ニ手ヲ握リ、肚ヲ割ッテ行ケルト云フコトハ、私ハ恐ラク是ハ世界平和ノ將來ヲ保障スル鍵デアルトサヘ信ジテ居ルノデアリマス（拍手）ケレドモ此兩國ノ親交ノ上ニ、責任ト負擔トヲ重ヌルヤウナ此事實ハ、假令是ガ國內問題デアリマシテモ――國內問題ハ成ルダケ觸レタクハナイノデアリマスガ、國內問題デアリマシテモ、此重イ責任ノ上ニ、又負擔ノ上ニ、更ニ障碍ヲ

REEL No. A-0559
0010
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

釀シ、此國家進展ノ上ニ於キマシテ一國內問題ト雖モ重大ナル障碍ト相成リマスルコトヲ恐レマスルガ故ニ、又我ガ同胞ハ彼ノ地ニ於キマシテハ、亞米利加人ヲ前ニ廻シテ、此土地問題ノ爲ニ有ユル迫害ヲ受ケ、襲擊サヘモ受ケル中ヲ毅然トシテ冷靜ニ、合法的ニ彼等ニ對シテ居リマスルコトヲ思ヒマスル時ニ、私ハ茲ニ一言ナキヲ得ナイノデアリマス、此點ハ實情ハ一體如何樣ニ相成ッテ居ルノデゴザイマセウカ、又政府ハドウ云フ御見透シデアリマスルカ、ドウ云フ處置ヲ御執リニナリ、又執ラントスルヤト云フ點ヲ、先ヅ第一ニ御伺致シタイト存ジマス

第二ハ支那ニ對スル關係デゴザイマスルガ、近頃國民政府ノ首腦部ノ態度ガ、兩國國交ノ正常化ニ、非常ナ熱意ヲ持ッテ參リマシタコトハ、結構ナコトデアルト私ハ存ジテ居ルノデアリマス、又新聞等ニ揭ゲテアル各種ノ報道モ、日々其進展振リヲ報ジテ居リマスルガ、果シテ事實ハ如何デアリマスカ、一體此日支間ノ報道ト云フヤウナモノハ、是マデ現ハレル經過ヲ見テ居リマスト、良イ時ニハ馬鹿ニ良イ報道ガ來ルノデアル、一寸引繰返ルト直グ其報道ガ惡クナッテ出テ來ルノデアル、恰モ株式ノ暴騰暴落ト云フ風ナ狀態ヲ呈シテ居ルコトガ度々アルノデゴザイマシテ、丁度株式ノ暴騰暴落ガ、經濟上ニ非常ナ影響ヲ與ヘマスル如ク、或ハ不安ヲ與ヘマスル如ク、兩國國交ガ急ニ良クナッテ見タリ、急ニ惡クナッテ見タリスルヤウニ國民ノ眼ニ映ズルコトハ、國民ニ不安ヲ起サス原因デアルト思フノデゴザイマスルガ、此事態ハ事實幸ニシテ巧ク行ケバ宜イガ、一體何處ガドウ良クナッテ居ルノデアルカ、サウシテ其道程ハドウ云フ風ニナッテ居ルノデアリマスカ、先ヅ經濟關係カラ先ニ入ッテ行カウト云フノカ、或ハ又政治問題ノ關係カラ入ッテ行カウト云フノカ、兩者並立ノ關係ニ於テ御出ニナラウト云フノデアリマスカ、此邊ノ所モ一ツ私ハ合點ガ行カナイノデゴザイマス、又支那ノ言論界ノ調子ヲ見マシテモ、支那ノ要人ノ誰ガ、イツ誰ニドウ言ッタト云フヤウナコトハ、今日ハ一切差控ヘマスルケレドモ、茲ニ一ツノ疑ガ――果シテ我ガ朝野ガ有ッテ居リマスルヤウナ熱意ガ、支那ノ方ニアルダラウカト云フ點ニ、一點ノ疑ナキヲ得ナイ點モアルノデアリマス、此點ハ支那國民トシテ色々トヤッテ見タガ、ドウモ八方塞リ、何ヲシテ見テモイカヌ、此場合何トカ排日延期トカ、休戰トカ云フ風ナ狀態ニシテ、表面和平親善ヲヤラウト云フノデアルナラバ、是ハ意味ガ頗ル淺イモノデアリマス、固ヨリ先方ガ萬一斯ル便宜主義ニ出發致シテ居リマシテモ、我方ハ東洋平和確立ノ大信念ト、共存共榮ノ大義ヲ徹底セシムル所ノ大信念ニ於テ進ンデ行カナケレバナラナイノデゴザイマスルガ、最近ノ親善工作ト云フモノハ、如何樣ニ相成ッテ居ルノデゴザイマスルカ、其邊ノ措置方ニ付テ政府ノ御答辯ヲ御願ヒ致シタイト思ヒマス、又モウ一ツハ最近ニ英米ガ我方ト支那トノ間ニ於ケル關係ニ對シテ、相當或種ノ關心ヲ有ッタ態度ヲ執ッテ居ルヤニ承ッテ居リマスルガ、此邊ニ對シマスル所ノ外務大臣ノ御考ト、又其實情ヲ御聞カセヲ願ヒタイト思フノデアリマス、是ガ私ノ御伺ヒ致シタイ第二點デゴザイマス

第三點ハ日本ノ「ソヴイエト」露西亞トノ關係デゴザイマス、實ハ私ハ一時ハ隨分日露ノ間ニ、イザ戰爭ガアルダラウト云フ風ナ噂ガ出マシタ時ニハ、實ニ苦々シク思ッテ居ッタ一人デアリマス、外字新聞ノ傳フル所ニ依レバ、露西亞ノ拔カリノナイ所ノ當局ハ、之ヲ直チニ對歐洲關係、對國內關係ニ利用宣傳致シマシテ、國內軍備、產業ノ工作ニ可成リニ利用シタト云フ風ナ噂モ伺ヒマシタガ、扨ソレガ最近ニハ日滿「ソ」三國間ニ、北鐵交涉ガ順調ニ進行致シマシタノヲ初メト致シマシテ、段々ト進ンデ參リマシテ、兎ニ角和平交涉ニ依ッテ、全部ヲ解決ショウト云フ外務大臣ノ、ハッキリトシタ態度ハ、國民ノ等シク悅ブ所ダトハ信ジマスルガ、最近ノ實情ハ果シテ如何デゴザイマセウカト云フ點デアリマス、先般外務大臣ハ、日「ソ」間ノ關係ハ、斷ジテ戰爭ニ訴フルガ如キコトハ許サナイ、兩國國境ノ軍備ノ如キハ、恰モ亞米利加ト加奈陀ノヤウニ、或ハ樺太ノヤウニ致シマシテ、サウシテ無防備ノ狀態ニ爲スコトヲ以テ理想トスルト云フコトヲ申サレ、扨サウナッタ上ニ於テ、初メテ名實共ニ不可侵條約モ完全ニ行ハレルノデアルト云フ風ナ意味ノコトヲ述ベラレマシタ、失禮ナガラ私ハ此點ヲ非常ニ御心配申上ゲルノデアリマス、一體此頃ノ外交交涉ト云フモノハ、何處ニ特徵ガアルカト云フコトハ、所謂其彈力性ニ在ルノデアリマス、之ヲ斯ウダト言ヒ切ッテシマフ外交ハ、兎モスレバ頭ヲカッツント打ツノデゴザイマシテ、茲ニ所謂伸ビノアル外交ガ私ハ必要デアラウト思フ、軍縮會議ニ出ス所ノ海軍ノ計畫ガ「スライディング・スケール」ト申シマスカ、噸數融通主義ト申シマスカ、其間ニ裕リヲ取ッテ行カウナドト云フノモ、其現レノ一ツデアルト思フノデゴザイマスガ、尙又「ソヴイエト」側ノ情報ヲ見マスルト、是トハ正反對ノヤウナコトヲ、可ナリ多ク述ベテ居ルノデアリマス、彼等ノ提唱シテ居リマスノハ、言ハズト知レタ所謂不可侵條約第一主義、先ヅ不可侵條約カラ進ンデ行カウト云フ彼等ノ主義デアル、コチラハ恰モ加奈陀ト亞米利加ノ如ク、或ハ樺太ノ如キ所ノ流儀ニ依ッテ行カウト云フト、其間ニ非常ナ開キガ出來テ參リマシテ、ソコニ外務大臣ノ御信念ガドウ云フ風ニ生レテ來ルカト云フコトヲ、疑ハザルヲ得ナイノデゴザイマスガ、私共カラ見マシテ、力ヲ籠メテ言ハレタ亞米利加、加奈陀ノ問題ト云フモノハ、外務大臣ガ御考ニナッテ居ルヤウナコト、少シ違フデハナイカト思フノデアリマス、ソレハ御存ジノ通リニ、亞米利加ト加奈陀ト云フモノハ、同文同種ドコロデハナイ、同血ノ民族ガ相對シテ居ル、外交關係ノ紛爭ガ生ズルト云フ時ニハ、一加奈陀ヲ相手ニスルノデナクシテ、英國ヲ相手ニスルト云フ關係ニ相成リマスルト思ヒマスル時ニ、其無防備ノ狀態ト云フモノハ、是ハ當リ前ナ事デアルト云フコトガ直グ分ルノデアリマス、又然ラバ樺太ハ、日本ト「ソヴイエト」露西亞ト、五十度ヲ眞中ニシテ相對シテ居ルデハナイカト云フコトモ、一面立ツカモ知レマセヌケレドモ、是ハ現地ノ狀況ヲ本當ニ見レバ能ク分ルノデゴザイマシテ、アノ北邊ノ一隅ニ獨立シテ存在シマスル所ノ島ノ中ニ、兩國ガ防備ヲ施シテ對スルト云フガ如キコトハ、想像シ得ナイコトデアルノデアリマス、斯ウ云フ風ニナシテ參ルノデゴザイマスルガ、若シ此御話ノ通リニノミ依リマスルト、折角ノ御言明ガ一方的ノ御言明トナルヤウナコトニナリマシテハ、私ハ頗ル遺憾ト思フ、御承知ノ如ク外交上ニ於テハ、一方的ノ言明ナド、云フモノハ、外交界ノ過去ニ顧ミマシテ、默ッテ居ル方ガ增シナ時ガ多イノデアリマス、故ニ此點ヲ私ハ心配ヲ致スノデゴザイマスルガ、併シ原則ハガッチリ一致シテ居ル、戰爭ニ依ッテ物ハ進メナイ、和平解決ニ依ッテ進メヨウト云フ所ダケハ、チヤント一致シテ居リナガラ「ソヴイエト」ノ方ハ、右ノ道ヲ行ッテ目的地ニ到達ショウト云フ、我方ハ左ノ道ヲ行ッテ目的地ニ到達ショウト云フ、上リノ汽車ト下リノ汽車程違ヒマシテ、サウシテ圓滿ナル結論ヲ得ルト云フ御見込ハ、ドウ云フ所ニアルノデゴザイマセウカ、私ハ洵ニ此點ヲ案ズルノデゴザイマスルガ、私一個ノ考カラ申シマスルナラバ、矢張斯樣ナ重大ナル問題ニ對シテハ、外交當局ノ態度ト云フモノハ、寧ロ斷定ニ近イ態度ヲ御執リニナリマスルヨリハ、今後ノ進展ノ實情ニ卽シマシテ、更ニ御考ニナル餘裕ヲ存シテ置ク方ガ宜イデハナイカト思ハレルノデアリマスガ、其邊ニ對シマスル所ノ外務大臣ノ御考ヲ承リタイト存ズルノデアリマス(拍手)尙又實際工作ノ上ニ於キマシテハ、可ナリニ色々ナ事ガ此頃進ンデ居ルヤウデゴザイマスルカラシテ、此機會ニ於キマシテ、併セテ其御工作ノ經過及迪ヲントスル御考ヲ御聞カセヲ願ヘレバ、洵ニ幸ト存ズルノデアリマス、前ノ議會ニ於キマシテハ、外務大臣自ラ議會ニ自發的ニ御出席ニ相成リマシテ、外交事情ヲ御說明ニ相成ッタノデゴザイマシテ、吾々非常ニ愉快ニ感ジタノデゴザイマシタガ、本年ハ、考ヘマスルナラバ、只今申上ゲマシタヤウニ、昨年ヨリハ其重要性ヲ倍加致シテ參ッテ居ルノデゴザイマスカラ、何卒此際率直ニ右ノ事情ヲ御說明下サイマシテ、サウシテ外務大臣自ラ此議政壇上ヨリ、日本ノ全國民ニ此外交事情ヲ御說明ニ相成ル御考ヲ以チマシテ、サウシテ國民ノ疑惑ヲ一掃サレンコトヲ切ニ御願ヲ致シテ、私ノ質問ヲ終リマス(拍手)

(國務大臣廣田弘毅君登壇)

○國務大臣(廣田弘毅君)　只今田中君ハ、我ガ國際情勢ノ點ニ付テ、項目ヲ擧ゲテ御質問ニ相成ッタノデゴザイマスガ、御承知ノ通リ我ガ國際情勢ノ重要デアルコトハ勿論デアリマシテ、尙ホ其點ニ付キマシテ、國民ノ間ニ十分ニ不安ノ念ガ取去ラレテナイ、前途ニハ幾多ノ問題ガ橫ッテ居ルノデハナイカ、是ハ洵ニ御尤ナコトデアリマシテ、政府ト致シマシテモ出來ルダケサウ云フ不安ノ空氣ヲ去ラセルコトニ努力致シテ居ルノデアリマスガ、未ダ其效果ガ十分ニ現レズ今日ニ至ッタ點ハ、甚ダ遺憾デアルト思フノデアリマス、其中ニ特ニ亞米利加トノ關係ニ付テ御質問ニ相成リマシタ點ハ、最近日米ノ關係ハ、相當親善ノ方向ニ進ンデ居ルヤウデアルケレドモ、現實ニ「アリゾナ」州又ハ「カリフォルニヤ」州ニ於ケル排日運動ガ、ドウナッテ居ルカ分ラヌデハナイカト云フ點デアルノデアリマス、私モ日米ノ關係ハ次第ニ好轉ノ傾向ニアルト見ルノデアリマスガ、只今御質問ニ相成リマシタ事實ハ現ニ存在シテ居ルノデ、此點ハ甚ダ遺憾デアルト思フノデアリマス、元來日米ノ關係ニ於キマシテ、今日迄何トナシニ我ガ國民ノ心ヲ平カニスルコトヲ得ナイノハ、排日法案ノ存在シテ居ルト云フコトデアルト思ヒマス、併ナガラ此排日法案ニ付キマシテハ、從來日本政府ト致シマシテハ、斯ル不當ナル法案ハ、必ズヤ米國民ノ自覺ニ依ッテ、改革ノ時機ガ到來スルモノデアル、又其時機ノ一日モ速ニ來ランコトヲ期待スルト云フ態度ヲ以テ、非常ナ隱忍ヲシテ今日迄參ッテ居ルノデアリマス、其場合ニハ一面ニ於キマシテハ、將來移民ヲ送ルコトハナイガ、少クトモ米國全般ニ、現ニ存在シテ居リマス我ガ同胞ハ、必ズヤ人道的待遇ヲ受ケルデアラウ、又受ケルヤウニスル爲ニハ、此排日法案モ暫ク隱忍シテ居ルベキデアルト云フ考デ參ッテ居ルノデアリマス、然ルニ最近實際トシテ「アリゾナ」州或ハ「カリフォルニヤ」州等ニ、更ニ一層我ガ同胞ノ生活ヲ困難ナラシムルヤウナ法案ガ出テ參ルヤウニナッタコトハ、甚ダ心外千萬ニ思フノデアリマス、併ナガラ此問題ヲ處理スルコトニ付キマシテハ、餘程愼重ニ致サナケレバナラヌト思フノデアリマス、現ニ過去ニ於キマシテモ「カリフォルニヤ」其他太平洋沿岸ノ諸州ニ於ケル排日問題ニ依ッテ、兩國ノ國際關係ニ非常ナ惡影響ヲ及ボシタ事柄モアリマスルノデ、再ビサウ云フ事ヲ繰返スヤウナコトガアリマシタナラバ、折角親善ノ傾向ニ進ンデ居リマス日米關係ニ、非常ニ暗影ヲ投ズルコトニ相成リマシテ、將來各種ノ問題ノ解決ニ、非常ナル不便ヲ來シハシナイカト虞レテ居ルノデアリマス、私ノ此虞レハ米國政府ニ於キマシテモ、亦州政府其他亞米利加ノ識者一般ニ於キマシテモ、同ジ考ヲ持ッテ居ル、ト私ハ信ジテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ假令是ガ單ニ亞米利加ノ內政問題ト致シマシテモ、其解決如何ハ、軈テ兩國ノ關係ニ多大ノ影響ヲ及ボスモノデアリマス以上ハ、十分ニ先方ニ於キマシテモ之ニ考慮ヲ拂ッテ居ルト私ハ確信致シテ居リマス、又出來ルダケ

REEL No. A-0559
0011
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

サウ云フ風ノ氣持デ問題ノ圓滿解決ヲ圖ッテ貰ヒタイト云フコトヲ、絕エズ先方ノ注意ヲ喚起致シテ居リマスノデ、此點ニ付キマシテハ暫ク日本トシテハ靜ニ其成行ヲ見テ居ルコトガ、一番上策デアルト私ハ信ジテ居ルノデアリマス

第二ニ對支問題ニ付キマシテモ、大分好轉ノ曙光ガ見エテ參ッテ居リマスコトハ事實デアリマシテ、然ラバドウ云フコトガ具體的ニアルカト云フコトニナリマスト、是ハ小サイ事ヲ一々申上ゲルコトハ如何カト思ヒマスガ、最近ニ於ケル揚子江方面ノ我ガ商品ニ對スル稅關ノ取扱、其他新聞紙上ニ現ハル、狀況、尙ホ色々ノ商店ニ於ケル我ガ商品ノ取扱等ニ見マシテモ、政府ガ相當排日貨運動ヲ阻止シテ居ルコトハ、確ニ認ムルコトガ出來ルノデアリマス、況ヤ政府幹部ノ考方ヲ私ガ推測致シマスルニ、今回ハ眞ニ兩國ノ根本的融和ヲ築キタイト云フ信念ヲ、固ク有ッテ居ルト私ハ信ズルノデアリマス、然ラバドウ云フ方面カラソレニ入ルカト云フコトニ相成リマスト、是ハマダマダ雙方ニ於テ相當研究ヲセナケレバナラヌモノデアルト思フノデアリマス、必シモ經濟ヲ先ニセナケレバナラヌ、又政治的ノ方面ヲ先ニセナケレバナラヌト云フヤウニ、特ニ決メ込ンデ掛ル必要モナイノデアリマス、先ヅ實際ノ方面カラ申シマスト、私ハ矢張經濟的ノ發展ガ現實ニ先ヅ現レテ來ル問題デアルト思フノデ、ソレニ依ッテ日本人モ次第ニ先方ノ意ノ在ル所ヲ諒解スルヤウニ相成ッテ參リマシタナラバ、ソレ〱更ニ兩國ノ關係ヲ好クスル途ニ進ミ得ルデアラウト思フノデアリマス、現ニ先達汪兆銘氏ノ發表サレマシタ日支關係ニ關スル中央會議ニ於ケル演說ノ如キハ、眞ニ汪兆銘其他其周圍ノ諸氏ノ日本ニ對スル信念ヲ能ク現ハシテ居ルモノト私ハ信ズルノデアリマス、日支ノ關係ヲ將來更ニ好クシテ行クニ付キマシテハ、必シモ私ハ此際具體的ニ斯ウ云フ問題ヲドウセナケレバ、親善ノ實ヲ認ムルコトハ出來ナイト云フヤウナ、窮屈ナコトヲシテ行クヨリモ、先ズ心ヲ以テ心ニ傳ヘル、以心傳心ノ方法ニ依ッテ行クコトガ、一番大切ナコトデアルト思フノデアリマス、此日支ノ最近ノ接近ニ對シマシテ、英米其他ニ色々ノ意見ガ行ハレテ居ル、是モ或ル程度マデ確ニサウ認メラル、ノデアリマスケレドモ、ソレハ英米ニ於ケル一二ノ批評家ノ意見ガ新聞ニ傳ヘラレマシテ、直チニソレヲヤレ英國ノ意見、或ハ米國ノ趨勢デアルト卽斷スルト云フコトハ、是ハ餘程注意セナケレバナラヌト思フノデアリマス、私ガ此位置ニ居リマシテ、直接英米等ノ代表者ト接近致シテ得マシタ感想ヲ申上グレバ、決シテ英米ニ於キマシテハ、日本ト支那ノ此際接近スルコトニ對シテ特ニ疑惑ヲ有チ、我ハ更ニ之ヲ阻止スルガ如キ觀念ハ毛頭ナイコトヲ、私ハ斷言シテ憚ラナイト思フノデアリマス、尙ホ唯英米ト致シマシテハ、支那トノ從來非常ニ密接ナ貿易關係ニ鑑ミマシテ、支那ヲ一日モ速ニ政治的ニ、又經濟的ニ健全ナル基礎ノ上ニ發達スルヤウニ導イテ行キタイト云フ氣持ハ、十分アルヤウニ思フノデアリマス、是等ノ點ニ付キマシテハ、更ニ篤ト英米等トモ協議研究スベキコトデアルト思フノデアリマス

第三ニ「ソ」聯邦ニ對スル關係ニ付キマシテハ、只今田中君ハ不可侵條約ヲ先ヅ結ブ方ガ宜イノデハナイカト云フ御意見ノヤウニ御察シタノデアリマスガ、果シテサウデアルト致シマスレバ、其點ハ確ニ私ノ現在考ヘテ居ルコト、違ッテ居ルト申サナケレバナラヌト思フノデアリマス、露西亞ノ國情、其他從來ノ關係カラ申セバ、兩國ノ間ニハマダ幾多十分諒解ヲ付ケナケレバナラヌ問題ガ橫ッテ居ルノデアリマス、私ノ考ハ成ベク是等ノ問題ヲ先ヅ解決シテ、サウシテ兩國人ノ相互ノ諒解ノ增進ト相俟ッテ、更ニ親善ノ關係ヲ具體化スルト云フコトガ、適當デハナイカト思ッテ居ルノデアリマス、例ヘテ申シマスレバ、私ノ考モ結局ハ同ジ目的ニ到著スルト云フノデアリマスガ、山ノ頂上ニ登ッテ愉快ナル平和ノ空氣ヲ見ルト云フコトヲ、熱望スルト致シマシテモ、私ハ山ノ途中ニ幾多ノ森林ガアリ、幾多ノ鑛山ガアリ、幾多ノ石油ガアルト致シマスレバ、是等ノモノニ處カラ徐々ニ道ヲ付ケ「パイプ」ヲ付ケテ進ンデ參ッテ、頂上ニ行ッテ平和ノ空氣ヲ見ルコトガ一番安全デアルト思フ、或ハソレヨリモ一足飛ビニ飛行機ニ乘ッテ山ノ頂上カラ見渡シテ、ソレカラ徐徐ニ降ッテ來テ石油ヲ掘リ、森林ヲ伐採スルト云フコトデアリマスト、下ノ方ニ道モ出來テ居ナイト云フ關係ニナリハシナイカ、要スルニ是ハ考方ノ問題デアリマシテ、只今モ田中君ノ御意見ニアリマスヤウニ、斯ウトキッチリ決メテ、伸縮性ノナイヤウナコトハシナイ方ガ宜イト云フコトハ、私モ全然同感デアリマスノデ、必シモ最初カラ不侵略條約ヲ作ルト決メ込ンデ掛ルト云フコトモ、ドウデアラウカト思ッテ居ル次第デアリマス、其他色々ノ點ニ付テモ意見ヲ述ブルヤウニト云フコトデアリマシタガ、私ハ大體現在ノ重要問題ハ此三ツデアルト思ヒマスノデ、是ダケヲ以テ御答辯ニ代ヘタイト思ヒマス（拍手）

（田中武雄君登壇）

○田中武雄君　只今外務大臣ノ御答辯ニ依リマシテ大體ヲ諒承致シマシタ、尙ホ多少考ノ違フ點モアルカトモ存ジマスルガ、「アリゾナ」ノ問題ノ如キハ、後ニ岸君カラ詳シク御尋ノヤウデモアリマスシ、又露西亞ノ問題等ニ付テモ、大體歸著點ニ於テハ何等ノ差ガナイノデゴザイマスルカラ、私ハ

是レ以上ノ御尋ハ致サナイ積リデアリマス、唯茲ニ加ヘテ御願ヲ致シテ置キマスルノハ、今モ外務大臣御自身ガ申サレマシタヤウニ、此難局ハドウセ樂ニハ乘切レナイ、餘程モット難カシイ場面ニ打付カルデアラウト思フノデアリマスルカラ、十分其決心ト覺悟ヲ有タレマシテ善處スル――此頃聲明戰トカ云ッテ出來モセヌコトヲ、能ク聲明ガ先立ッテ實行ガ伴ハナイト云フノガ、一體此頃ノ行キ樣ノ缺點デハナイカト存ズルノデアリマスカラシテ、此點ハ一度聲明ヲスレバ必ズ行フ、此御決心ガ第一ニ必要デアルト思フノデアリマス、第二ハ何デアルカト云フト、軍部ノ愼重ナル反省ト考慮デアリマス、對支問題モ、ソレカラ對露問題ニ付キマシテモ、軍部ト外務ガ眞劍ニ一致シテ國民ノ不安ヲ除ク、其方針ヲ貫徹スルト云フコトデアラネバ、互ニ軍部ガ外務ヲ批評シ、外務ガ軍部ヲ批評スルト云フヤリ方ニ於キマシテハ、對露對支ノ外交ハ斷ジテ進メルコトハ出來ナイ（拍手）此點ハ十分ナル御決心ヲ持ッテ御掛リ下サランコトヲ切ニ御願スル次第デアリマス、尙ホ此壇上ニ於テ、自分ガ在任中ハ戰爭ナンカハ起サナイト云フ、ハッキリトシタ御言葉ニ、私共洵ニ愉快ニ感ジタノデアリマスルガ、願クバ此言葉ヲ更ニ延長セラレテ、廣田自身ガ目ノ黑イ間ニハ斷ジテ戰爭ハ起サヌト云フ一大決心ヲ御持チニナリマシテ（拍手）ドウカ此難カシイ外交界ノ將來ニ付テ、十分命懸ケデ肚ヲ決メテ善處セラレンコトヲ、切ニ御願ヲ致シマシテ質問ヲ打切リマス（拍手）

○副議長（植原悅二郎君）　第四ノ米國ニ於ケル排日問題ニ關スル質問――提出者岸衞君

――――

四　米國ニ於ケル排日問題ニ關スル質問（岸衞君提出）

米國ニ於ケル排日問題ニ關スル質問主意書

右成規ニ據リ提出候也

昭和十年三月四日

提出者　岸　　衞

米國ニ於ケル排日問題ニ關スル質問主意書

米國ニ於テ最近排日問題猖獗ヲ極メツツ、アリ政府ノ對策如何

右及質問候也

（岸衞君登壇）

○岸衞君　文化ノ最高峰ヲ以テ自ヲ任ジ、人道ノ一手販賣ノ如キ顏ヲシテ居リマスル北米合衆國ニ於テ、而モ其文化ニ背キ、人道ニ反シテ、我ガ國民排斥ノ火ノ手ノ揚ゲラレテ居リマスル現狀ニ付キマシテハ、只今私ノ尊敬スル田中君ヨリ十分ナル御質問ガアッタ通リデアリマス、之ニ對シマシテ廣田外相ノ御答辯ハ、措辭徒ラニ婉曲、所謂外交辭令ニ終始致シマシテ、事ノ眞相ニ觸ル、ヲ避ケ、何等斷乎タル決意ヲ表示致シマセヌノハ、甚ダ生溫イ、物足リナイ感ジガアリマシテ、且又私ノ所信ニ非常ニ反對ナル點ガアリマスルガ故ニ、玆ニ甚ダ勝手デアリマスルガ、又多少ノ重複スル點ハアリマスルガ、暫時ノ時間ヲ賜リマシテ、私ハ特ニ米國ニ於キマスル所ノ排日問題ニ付キマシテ、外務大臣ノ所信ヲ伺ハントスル者デアリマス

（副議長退席、議長著席）

一時終熄シタルガ如キ觀ノアリマシタ北米合衆國ニ於キマスル所ノ排日ガ、昨年來「アリゾナ」州ニ於ケル暴動ヲキッカケニ、最近ニ至リマシテハ「カルフォルニヤ」華盛頓各州ニ蔓延ヲ致シマシテ、其勢ハ益猖獗ヲ極メ、底止スル所ヲ知ラナイ狀態ニ在リマスルコトハ、日米兩國ノ國交ニ顧ミマシテ、洵ニ遺憾千萬ノ極ミデアルト申サネバナリマセヌ、既ニ諸君御承知ノ通リ「アリゾナ」州ニ於キマシテハ、昨年來或時ハ多數ノ暴漢ガ邦人ノ農園ヲ強襲シテ、我ガ順良ナル農民ヲ脅迫シテ退去ヲ迫リ、又或時ハ暴行ヲ働キ、更ニ彼等ハ數回ニ亙リマシテ、大膽ニモ「ピストル」ヲ射チ、爆彈ヲ投ゲ、爲ニ邦人中可憐ナル一少女ノ如キハ、其破片ノ爲ニ負傷シタ事實ガアルノデアリマス、斯ノ如キ非合法的行爲ガ永續的ニ公然行ハレテ、而モ犯人ハ一人モ捕ヘラレテ居ラヌト云フコトハ、文明ヲ誇ッテ居リマスル所ノ列國中、未ダ曾テ其例ヲ見ザル所ノ醜態デアリ、洵ニ言語ニ絕スル非人道的野蠻行爲デアッテ、彼ノ生蕃ナドノ行爲ト何等擇ブ所ガナイト申シテモ差支ナイノデアリマス（拍手）吾々ハ洵ニ此點ニ於キマシテ、義憤ヲ感ゼザルヲ得ナイノデアリマス、而モ米國ハ世界ニ於ケル文化ノ優秀ヲ誇リ、人道主義ヲ高唱セル國デアリナガラ、白晝公然斯ル蠻行ガ行ハレツ、アルコトハ、文化ノ看板ト人道ノ看板ノ手前、彼等自ラノ襟度ヲ傷ケルモノニ非ズシテ何ゾヤト申シタイノデアリマス（拍手）斯ノ如キ行爲ハ、恰モ彼ノ滿洲事變前、支那ニ於ケル排日ト其揆ヲ一ニシテ居リ、而モソレガ文明國ノ假面ノ下ニ行ハレテ居ルダケニ、一層其性質ガ惡質ナリト斷ゼザルヲ得ナイノデアリマス（拍手）却テ最近支那ニ於キマシテハ其非ヲ悟リ、日支親善ノ本領ニ立戾リマシテ、今ヤ徐々ニ排日ノ跡ヲ斷タントスルノハ、流石ニ吾等ト同樣ニ東洋道德ニ關シテ、其修養ヲ一ニセル國ダケニアリマシテ、衷心吾吾ノ喜ブ所デアリマス、米國ノ如キハ宜シク此支那ノ態度ヲ見テ、サウシテ自ラ大ニ反省スベキデアルト考ヘル次第デアリマス、「アリゾナ」ニ於キマシテハ、其後彼等ハ其非難ヲ恐レマシテ、非合法的壓迫ハ之ヲ中止シタヤウデハアリマスルガ、此度ハ更ニ出直シマシテ、官民一致致シマシテ、合法的非合法

REEL No. A-0559
0012
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

トデモ申シマセウカ、サウ云フ種類ノ排日ヲ敢行致シマシテ、今ヤ「アリゾナ」州議會ハ下院議員「サリヴアン」氏、同ジク上院議員「ハーバート・スミス」等ノ提出セル所ノ、極メテ峻烈苛酷ナル排日法案ヲ制定セントシテ居ルノデアリマス、而シテ「スミス」案ハ既ニ上程セラレテ、上院ノ分科委員會ヲ通過シ、全院委員會ノ審議ニ懸ッテ居リマスルノデアリマスルカラ、其成立ノ確實性ヲ愈ゝ增シテ來テ居ルト云フコトハ、我ガ移民政策ノ前途洵ニ憂慮ニ堪ヘナイ次第デアリマス、右排日法案ガ實施セラル、場合ハ、同州ニ於キマスル所ノ在留邦人農家ガ、事實上一軒殘ラズ經營不能トナル次第デアリマス、私ハ過グル議會ニ於キマシテ、此「アリゾナ」事件ノ成行ヲ憂慮致シマシテ、外務大臣ニ質問書ヲ提出ヲ致シテ置キマシタ、外務大臣ハ之ニ對シマシテ十分善處スルト云フコトヲ御答辯ニナッテ居ルノデアリマス、其御答辯ヲ私ハ頂戴ヲシテ居ルノデアリマス、然ルニ其後數箇月ヲ經タル所ノ今日、一向外務大臣善處ノ跡ガ見エナイ、形勢ハ少シモ好轉ヲシテ居ナイ、否反對ニ刻々ト此排日ノ氣勢ガ全米國ニ向ッテ蔓延シツ、アルト云フコトハ、是レ明ニ外相ノ言質ヲ裏切ルモノナリト私ハ斷ゼザルヲ得ナイノデアリマス(拍手)殊ニ今朝ノ「アドヴアタイザー」紙ヲ見マスルト云フト、再ビ「アリゾナ」ニ於キマシテハ、元ノ暴力行爲ガ行ハレヤシナイカト云フ懸念ガアルト云フコトヲ、「アリゾナ」州ノ「フエニックス」カラ參リマシタ所ノ電報ニ掲載セラレテ居ルノデアリマス、其前途ヤ洵ニ憂慮措ク能ハザルモノガアルノデアリマス、加之更ニ「カリフオルニヤ」華盛頓州ニモ排日法案ガ提出ヲサレテ居リマス、「カリフオルニヤ」州ニ於キマシテハ下院議員「ウオーカー」氏ニ依リマシテ、極メテ峻嚴ナル排日移民法ガ提出サレテ居リマス、若シ是ガ成立スル場合ニ於キマシテハ、加州在住ノ數万ノ邦人農民ハ、全ク失業ノ憂目ヲ見ルコトヲ、外務大臣ハ一體何ト見テ居ルノデアリマスルカ、斯ノ如キ排日ノ狼烟ハ、北米全西岸ニ瀰蔓セントシツ、アルノデアリマスガ、此原因ハ何デアルカト申シマスルナラバ、一ハ人種的偏見デアルコトハ申スマデモアリマセヌ、而シテ第二點ハ我ガ農民ノ頗ル優秀ナル點ヲ嫉ム彼等ノ嫉視、又第三ニハ之ヲ政治的ニ利用セントスル所ノ策動ガ主ナル原因デアリマシテ、而モ其犧牲ニ供セラル、邦人ハ、洵ニ飛ンダ災難ト言ハザルヲ得ナイノデアリマス、邦人農民ハ其豐富ナル所ノ體驗ヲ以チマシテ、北米ニ移住シテ多大ノ犧牲ヲ拂ヒマシテ、荒蕪ノ土地ヲ開墾シ、サウシテ其土地ヲ今日豐饒無比ノ土地ト致シマシタノデアリマス、其功績ハ蓋シ米國民ノ絶讃ト感謝ノ念ヲ以テ報イラルベキモノデアリマシテ、之ニ對シテ排日ヲ以テ報イラルベキモノデハ斷ジテナイト私ハ確信スルノデアリマス(拍手)全ク今日西部北米農産物ノ殷盛ヲ極メテ居リマスルノハ誰ノ力デモナイ、邦人ノ努力ニ依ル賜デアルト云フコトハ事實デアリマス、今更其功績ヲ彼等ガ無視ヲ致シマシテ、不純ナル動機ノ下ニ、人道ニ反シテマデモ、我ガ邦人ニ迫害ヲ加ヘントスル如キハ、忘恩ノ甚シキモノデアッテ、德義ニ背ク行爲ナリト斷ゼザルヲ得ナイノデアリマス(拍手)米國ニ於テハ諸君御承知ノ通リ、各州ニ權限ガアリマシテ、中央政府ハ之ニ干渉スル權限ガアリマセヌガ、此排日ノ結果ハ、單ナル國内ノ問題ニ止ラズ、延テハ先程田中君モ言ハレマシタル通リ、國際問題ニ轉化致シマシテ、日米親善上多大ノ障碍トナリマスルガ故ニ、日米兩國政府ハ最善ノ力ヲ致シマシテ、大所高所ヨリ我ガ邦人ノ既得權ヲ害セズ、且ツ我ガ國民ノ體面ヲ損セザルヤウニ、處理スベキガ當然デアルノデアリマス、然ルニ彼ノ事件勃發以來、我ガ霞ケ關當局ノ態度ハ洵ニ微溫的デアリマス、廣田外相ノ揚言ガアルノニモ拘ラズ、何等ノ解決ヲ告ゲテ居ラナイノデアリマス、只今田中君ニ對スル所ノ答辯ニ於テ、外相ハ唯成行ヲジット見テ居ル、ソレガ上策デアル、外務大臣ガ私ニ向ッテ善處スルト言ッタ其言葉ト全然違ッテ居ル、唯袖手傍觀ヲシテ、サウシテ其結果ヲ收メヨウトスルガ如キハ、是ハ洵ニ木ニ緣ッテ魚ヲ求ムルノ類ト言ハナケレバナラヌト思フ(拍手)廣田外相ハ日米國交ニ於テ何等武力ニ訴ヘルヤウナ、サウ云フヤウナ重要案件ガナイト云フコトヲ屢ゝ御聲明ニナッテ居リマスルガ、ソレハ單ナル外交辭令デアルナラバ兎モ角モ、斯ノ如ク我ガ邦人ノ權益ガ侵サレ、而モ我ガ國民ノ體面ガ毀損セラレテ、尙且ツ何等ノ重要案件ガ日米間ニナシト、誰ガ斷言シ得ラル、デアリマセウカ(拍手)私ハ唯何等爲スコトナク袖手傍觀シテ其結果ヲ待ツト云フ、此外務大臣ノ洵ニ暢氣ナ、寛大ナル大人ノ態度ニハ、呆レザルヲ得ナイノデアリマス、過般廣田外相ハ、先程モ田中君ガ言ハレマシタ通リ、自分ノ在任中ハ戰爭ハ斷ジテナイ、斯ウ放言ヲ爲サレテ居リマスルガ、斯ノ如キハ田中君ト私トハ、不幸ニシテ意見ヲ異ニシテ御贊成ノヤウデアリマシタガ、私ハ斯ノ如キ重大ナル言ハ、其影響スル所頗ル重大デアリマスルカラ、サウ輕々ニ御發シニナルベキモノデハナイト斯ウ確信シテ居ルノデアリマス、而モ宣戰ノ布告ノ如キハ、畏多クモ
天皇陛下ノ大權ニ屬シテ居ルモノデアリマス、無暗ニ一國ノ國務大臣ト雖モ之ヲ輕輕ニ發言スベキ性質ノモノデハナイノデアリマス、私ハ此點ニ於キマシテハ廣田外相ニ將來十分御愼ミアッテ然ルベシト、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス(拍手)天皇ノ大權

ガ斯ノ如ク屢ゝ論議セラレルト云フガ如キコトハ、洵ニ遺憾千万ナコトデアリマシテ、或ハ恐ル、我ガ廣田外務大臣モ美濃部博士ト同ジヤウニ天皇機關説ノ御主張者デモアルカト私ハ思フ、ドウカ斯ルコトノナイヤウニ、此壇上ヨリ御願ヲ致シテ置クノデアリマス、斯ノ如ク私ガ申スト致シマシテモ、私ハ本件ヲ干戈ニ訴ヘテマデ解決スベシト主張シテ居ル者デハアリマセヌ、併ナガラ若シ此儘ニ此事件ヲ拋棄シタナラバ、懸軍萬里、遠ク故郷ヲ去ッテ異境ノ空ニ孤軍奮鬪シテ居リマスル所ノ我ガ同胞ハ、霞ケ關傳統ノ所謂棄民トナリ、延テハ一般的ニ我ガ移民政策ハ行詰リ、不成功ニ終リ、破綻ノ淵ニ陷ルコトハ必定デアル、其事ヲ憂フル次第ナノデアリマス、廣田外相ハ斯ノ如ク我ガ國民ノ權益ガ蹂躙セラレ、我ガ體面ガ毀損セラレテ、尙且ツ頻被リヲシテ此屈辱ニ甘ンゼントスルノデアリマスカ、日本國民ハ斯ル屈辱ニ生キンヨリモ、寧ロ我國ノ名譽ノ爲ニ一死尙辭セザルノ概アルコトヲ御承知ニナッテ居ルカドウカ(拍手)廣田外相ハ須ク徒ラナル協調外交、或ハ協和外交、象牙ノ塔ニ立籠ッテ、一日ノ安逸ヲ貪ルコトナク、少シ骨ノアル外交ヲ私ハ米國ニ對シテヤッテ戴キタイ、斯ウ熱望シテ已マナイノデアリマス、弱國ニ對シテノミ强硬デ、强國ニ對シテ忍從スルガ如キハ、斷ジテ吾々國民精神ト一致スル所以デハアリマセヌ、翻ッテ米國政府ニ於テ眞ニ外交辭令デナクシテ、日米親善ヲ希望スルナラバ、現ニ彼等ノ此脚下ニ起リツ、アル所ノ排日問題ニ付キマシテ地方問題トセズ、外交問題トシテ再吟味、再檢討スル所ノ要アルコトハ、國際信義ニ照ラシマシテモ、當然爲スベキ義務デアルト、私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、米國ガ傳統的自由ノ門戸ニ對シマシテ、排日――禁令ヲ掲ゲナガラ、而モ支那滿洲ニ對シテ門戸開放、機會均等ヲ强要スルガ如キハ、矛盾モ亦甚シイモノデアリマシテ、日米親善ヲ根本的ニ破壞スルモノデアリマス、而モ其由テ來ル主ナル原因ハ、彼等ノ胸底奥深ク巣食フ人種的偏見デアリ、彼等ノ優越感デアリ、彼等ノ差等的觀念デアルノデアリマス、日本及日本人ニ對スル彼等ノ不平等感ハ、我ガ移民排斥ノミナラズ、總テハ軍縮會議ニ於キマシテモ、軍備ノ不平等トナッテ現レテ來ルノデアリマス、此觀念ヲ根本ヨリ打破シ、彼等ヲシテ從來ノ優越感ヲ一掃セシメザル限リハ、排日ハ勿論ノコト、又延テハ軍備ノ平等モ期シ得ルコトガ出來ナイノデアリマス、此點ニ對シマシテ外務大臣ハ果シテ如何ナル御考ヲ御有チニナッテ居ルカ、其御所信ヲ御伺致シタイノデアリマス

而シテ此外彼ノ千九百二十四年、米國ニ於キマシテ日本國民全體ノ額ニ劣等國民ノ烙印ヲ燒付ケテ居リマスル所ノ、全面的排日移民法ガ出來、現ニ尙ホ存シテ居ルノデアリマス、我ガ埴原大使ハ、當時之ニ反對ヲ致シマシテ、彼ノ重大ナル結果ト言ッタダケデ、其地位ヲ逐ハレマシテ、遂ニ轗軻不遇ノ裡ニ萬斛ノ恨ヲ呑ンデ逝去セラレタノデアリマス、洵ニ其事ヲ思ヘバ感慨無量デアリマス、右法律ニ對シマシテ時々霞ケ關ノ方カラハ、米國ニ於テ修正サル、ガ如キ空宣傳ガ參リマスルケレドモ、一向ニ其效力ガナイ、依然トシテ彼等ハ彼等ノ優越感ニ浸ッテ、吾々ノ劣等國民タル額ノ烙印ヲ見下シテ居ルノデアリマス、斯ノ如キ不當横暴ハ、固ヨリ彼等自身我國ニ對シテ一種ノ弱點ヲ持ツコトニナルノデハアリマセヌガ、吾々ハ今日ノ我國ノ東洋ノ位置ニ鑑ミマシテ、最早斯ノ如キ屈辱ヲ忍ブベキ秋デナイト、斯ウ確信スルノデアリマス(拍手)長ク泰西ノ羈絆ノ下ニ呻吟シテ居リマシタ所ノ亞細亞ノ新興ヲ兩肩ニ擔ッテ立ッテ居ル所ノ我ガ日本ハ、東洋ノ此安危ニ對スル所ノ重大責任ガアルノデアリマス、此日本ヲシテ奮起セシメル秋デアルノデアリマスルカラシテ、斯ノ如キ差別的待遇ニハ敢然トシテ鬪ハナケレバナラナイノデアリマス、日本ノ地位ノ向上ハ獨リ日本ノ地位ノ向上ニ止マリマセヌ、全亞細亞ノ地位ノ向上ニ關ハルモノデアルト云フコトヲ、外務大臣ハ御承知ニナッテ居リマスカ、外務大臣ニ果シテ一片ノ氣骨ト一掬ノ熱情トガアリマスルナラバ、モウ少シ腰ヲ入レテ强硬ニ談判ヲシ、袖手傍觀シテ居ルト云フ態度ヲ捨テ、サウシテ徹底的ニ交渉ヲシテ、斯ノ如キ不法ナル所ノ法律案ヲ撤回セシムベキデアルト私ハ考ヘルノデアル、私ハ數年前モ、一昨年モ米國ニ行キマシテ、有ユル機會ニ排日問題ヲ提ヘマシテ説明致シマシタガ、大多數ノ人ハ、斯ノ如キ法律ガ亞米利加ニアリマスコトハ、日本ニ對スル所ノ一ツノ恥辱デアルト、斯ウ申シテ居ッテ、大ニ反省シテ呉レテ居ルノデアリマス、此反省ヲ十分ニナサシメ得ナイ所ニ霞ケ關ノ外交ノ缺陷ガアル、一歩進ンデ大ニ積極的ニ、十分ニ彼等ニ理解ヲ持タシテコソ、日本ノ眞意ガ理解サレルノデアリマス、外相ノ言フガ如ク、唯單ニ袖手傍觀シテ居ッテ、ドウシテ日本ノ眞價ガ理解サレルデアリマセウカ、大ニ疑ナキ能ハズデアリマス、若シ假ニ斯ル行爲ガ所ヲ換ヘテ、我ガ日本内地ニ於テ、米國人ニ對シマシテ行ハレタト致シマシタナラバ、彼等ハ果シテ何ト言フデアリマセウカ、勿論默ッテハ居マスマイ、新聞雜誌モ大々的ニ之ヲ取扱ッテ、大聲疾呼シテ、我國ヲ目シテ野蠻ノ國デアル、非禮ノ國デアルト、鼓ヲ鳴シテ責メルニ相違アリマセヌ、殷鑑遠カラズ、彼ノ上海事件ノ際ニ於テ見テモ明デアリマス、然ルニ我國ニ於テハ、外國人ニ對シマシテハ、極メテ禮儀ガ厚イ、全面的ノ

REEL No. A-0559
0013
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

排外運動ノ如キハ、明治維新ノ當時ヲ除キマシテハ、未ダ曾テ見タコトガナイノミナラズ、滿洲ニ於テハ門戸開放、機會均等ヲ保障シテ居ル、彼等ガ目シテ彼等ヨリモ劣等ノ國、軍國主義ノ國、侵略主義ノ國デアルト言ッテ吾々ヲ非難シテ居ル日本ニ於キマシテ、外國人ニ對スル所ノ權益ノ保護ト、尊敬トガ十分ニ拂ハレテ居ルノデアリマス、之ニ反シテ、却テ人道ヲ說キ、文化ヲ誇ッテ居リマス所ノ米國ニ於キマシテ、彼ノ排他行爲ガ橫行闊歩シテ居ルト云フコトハ、如何ニ彼等ノ一部ニ道義觀念ガ缺如シテ居ルカト云フコトヲ、最モ雄辯ニ物語ッテ居ルト考ヘルノデアリマス、斯ル事實ノ前ニ袖手傍觀、屈從シテ居ル所ノ當局ノ不見識ハ、洵ニ日本國民トシテハ遺憾千萬デアル、切ニ當局ノ奮起ヲ促シテ已マナイ次第デアリマス、特ニ最近外交手腕ニ於キマシテハ、恰モ上ゲ潮ニデモ乘ッタカノ如キ感ガアリマス所ノ、廣田外相ノ私ハ奮起ヲ切望致シマシテ、一日モ早ク彼ノ排日運動ノ如キ忌ハシキ運動ガ米國カラ一掃サレマシテ、片務的、一方的ナラザル眞ノ日米親善ノ到來センコトヲ希望スル次第デアリマス、斯ル排日ガ行ハル、コトガ、又斯ル排日法ガ米國內ニ存在スル限リハ、假令外務大臣ガ何ト仰シヤラウガ、又外務當局ガ何ト米國ノ爲ニ御辯明ヲナサラウガ、日本國民ノ感情ノ底ニハ、到底彼等ニ對シテ親善ノ僞善ヲ裝フ能ハザルモノガアルコトハ、彼等トシテハ承知スベキダト私ハ確信シマス、此點ニ對シ、我ガ假ケ關外交ガ、極メテ消極的デアルコトハ、前述ノ通リデアリマスガ、軍縮問題ニセヨ、對支問題ニセヨ、有リト有ユル對米外交ノ第一歩ハ、彼等ノ有シテ居ル此人種的差別觀念ヲ一掃スルコト、卽チ米國ニ於キマスル所ノ有ユル排日ヲ一掃スルコトヨリシテ、先ヅ踏出サナケレバナラヌト私ハ考ヘルノデアリマス、廣田外相ハ果シテ重大ナル本問題ニ關シ、如何ナル所信、如何ナル對策ヲ有セラルヽカ、國民ノ十分滿足スベキ所ノ答辯ヲ此機會ニ於テ與ヘラレンコトヲ切望スルノデアリマス

終ニ田中君ガ其外交質問ヲ爲スニ當リマシテ、特ニ此排日問題ニ關シマシテ、私ガ質問スルノヲ御承知ニ相成リマシテ、私ニ十分質問ノ餘地ヲ殘サレマシタ所ノ其雅量ニ對シマシテ、議場ヲ通ジマシテ感謝ノ意ヲ披瀝シテ置キマス

〔國務大臣廣田弘毅君登壇〕

○國務大臣（廣田弘毅君）　只今岸君カラ、更ニ米國ノ排日法案ニ付テ御質問ニ相成ッタノデアリマスガ、私ノ答辯ノ要旨ハ、田中君ニ答ヘマシタト同樣デアルノデアリマス、曩ニ岸君ハ「アリゾナ」問題ノ發生ニ對シマシテ非常ニ憂慮セラレテ、此前ノ議會ニ於キマシテモ、私ニ御質問ニ相成リマスシ、又外務省ニ態々オ出デニナッテ、其所感ヲ述ベラレタコトヲ私ハ承知致シテ居ルノデアリマス、無論私ト致シマシテハ、斯ル案ノ現ニ存在スルコトハ、日米兩國ノ爲ニ甚ダ遺憾デアリマスノデ、此對策ト致シマシテハ、出來ルダケノ方法ヲ執ッテ居ル積リデアルノデアリマス、併ナガラ實際ニ於キマシテ、其成績ノ擧ラナイノハ甚ダ相濟マヌト思フノデアリマス、併ナガラ先ニモ申述ベマシタヤウニ、米國ノ中央政府ハ勿論、州政府ニ於テモ、其他各方面ニ於テ、斯ル狀態ノ米國ニ存在スルコトヲ遺憾トシテ、之ヲ十分ニ是正センコトヲ期シテ居ルト私ハ信ジテ居リマスノデ、先ニ申上ゲマシタコトハ、決シテ袖手傍觀シロト言ッタノデハナク、モウ暫ク其成行ヲ待ッテ戴キタイト云フコトヲ申シタノデアリマシテ、私ハ其點ニ付キマシテハ岸君ト同樣ニ、出來ルダケ速ニ斯ル問題ヲ除キ、其他日米關係ノ根本ニ橫ヘル問題等ニ於キマシテモ、時機到來致シマシタナラバ、必ズソレヲ逸セズ、是ガ解決ニ努力スベキコトデアルト云フコトヲ堅ク信ジテ居ルノデアリマス、斯ル狀態デアリマスノデ、此後ニ當リマシテ、色色ノ問題ヲ實行致シマス上ニ於キマシテ、甚ダ手緩イト云フ點モアルカモ知レマセヌガ、私ハ或ル場合ニハ、ソレノ方ガ最モ有效ナル手段ト感ズル場合モアリマスノデ、總テサウデアルト一概ニ御斷定相成ラヌヤウニ希望致シタイト思ヒマス

（拍手）

○岸衞君　簡單デスカラ此席ヨリ發言ヲ御許シ願ヒマス

○議長（濱田國松君）　許可致シマス

○岸衞君　只今廣田外相ガ熱誠ヲ御披瀝ニナリマシテ、私ノ質問ニ御答辯ガアリマシタコトハ、私感謝致ス次第デアリマス、假スニ時ヲ以テセヨト云フコトデアリマスカラ、吾々ハ外相ノ御腕前ヲ信ジマシテ、暫ク此經過ヲ見テ居リマスルガ、何卒今迄ヨリハ一層ノ御努力ヲ――我ガ移民同胞ノ權益ヲ傷ツケザルヤウニ、且又我國ノ體面ヲ傷ツケザルヤウニ、最善ノ御努力アランコトヲ、此機會ニ御願スル次第デアリマス

―――――

○靑木雷三郎君　殘餘ノ日程ヲ延期シ、本日ハ是ニテ散會セラレンコトヲ望ミマス

○議長（濱田國松君）　靑木君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（濱田國松君）　御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、明六日ハ定刻ヨリ本會議ヲ開キマス、議事日程ハ公報ヲ以テ御通知致シマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後六時三分散會

衆議院議事速記錄第二十一號中正誤

頁	段	行	誤	正
四一七	四	一七	中山福藏君ヲ削リ一八行下段ニ入ル	
四二七	四	二九	川崎勝次郎君	川崎勝治郎君
四一八	一	一九	昭和八年法律案第五十三號	昭和八年法律第五十三號
四三五	二	七	御異議アリマセヌ	御異議アリマセヌカ

官報 號外 昭和十年三月六日

○第六十七回帝國議會衆議院議事速記錄第二十二號

昭和十年三月五日(火曜日)

午後一時十六分開議

議事日程 第二十一號

昭和十年三月五日

午後一時開議

質問

一 社會不安ニ關スル質問(安藤正純君提出)

二、綱紀問題ニ關スル質問(津雲國利君提出)

三 最近ノ對外關係ニ關スル質問(田中武雄君提出)

四 米國ニ於ケル排日問題ニ關スル質問(岸衛君提出)

第一 關税定率法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第二 大正十三年法律第二十四號中改正法律案(鰹滓品等ノ輸入税ニ關スル件)(政府提出) 第一讀會

第三 昭和七年法律第四號中改正法律案(輸入税ノ從量税率ニ關スル件)(政府提出) 第一讀會

第四 關税法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第五 鐵ノ輸入税ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會

第六 治安維持法改正法律案(政府提出) 第一讀會

第七 不法團結等處罰ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會

第八 公立學校職員年功加俸國庫補助法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第九
昭和八年度第一豫備金支出ノ件
昭和八年度特別會計第一豫備金支出ノ件
昭和八年度特別會計豫備費支出ノ件
昭和八年度滿洲事件第一豫備金支出ノ件
昭和九年度第二豫備金支出ノ件
昭和九年度特別會計第二豫備金支出ノ件
昭和九年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過支出ノ件
(承諾ヲ求ムル件)

(左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲茲ニ掲載ス)

一政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

關税定率法中改正法律案

大正十三年法律第二十四號中改正法律案(鰹滓品等ノ輸入税ニ關スル件)

昭和七年法律第四號中改正法律案(輸入税ノ從量税率ニ關スル件)

關税法中改正法律案

鐵ノ輸入税ニ關スル法律案

治安維持法改正法律案

不法團結等處罰ニ關スル法律案

公立學校職員年功加俸國庫補助法中改正法律案

昭和八年度第一豫備金支出ノ件
昭和八年度特別會計第一豫備金支出ノ件
昭和八年度特別會計豫備費支出ノ件
昭和八年度滿洲事件第一豫備金支出ノ件
昭和九年度第二豫備金支出ノ件
昭和九年度特別會計第二豫備金支出ノ件
昭和九年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過支出ノ件
(承諾ヲ求ムル件)

(以上三月四日提出)

一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

家事調停法案

提出者

中村三之丞君 眞鍋儀十君
比佐昌平君

議院法中改正法律案

提出者

前田米藏君 中島知久平君
堀切善兵衛君 田子一民君
山本条太郎君 倉元要一君
岩崎幸治郎君 久原房之助君
島田俊雄君 松野鶴平君
花城永渡君 安藤正純君
東武君 高橋熊次郎君
高見之通君 加藤久米四郎君
山口義一君 岡田忠彦君
河上哲太君 野田俊作君
金光庸夫君 若宮貞夫君
坂東幸太郎君 富田幸次郎君
永田善三郎君 工藤鐵男君
松尾四郎君 牧山耕藏君
木檜三四郎君 櫻內幸雄君
三宅磐君 一松定吉君
小川郷太郎君 大麻唯男君
勝田永吉君 頼母木桂吉君
武富濟君 田中武雄君
中島彌團次君 鵜澤宇八君
內ケ崎作三郎君 野田文一郎君
小山谷藏君 岸衛君
伊禮肇君 高橋壽太郎君
風見章君 加藤鯛一君
中村繼男君 清瀨一郎君
小池四郎君 岡本一巳君
江藤源九郎君 安部磯雄君
龜井貫一郎君 飯村五郎君

(以上三月二日提出)

政府ノ爲ス土木建築請負契約統一ニ關スル建議案

提出者 蔭山貞吉君

弓道ヲ中等學校正科目ニ編入ニ關スル建議案

提出者 佐藤洋之助君

明治二十五年三月三十一日 第三種郵便物認可

內閣印刷局

母子扶助法制定ニ關スル建議案
提出者
末松偕一郎君　坂東幸太郎君
比佐昌平君　松田竹千代君

金融合理化ニ關スル法律制定ニ關スル建議案
提出者
前田房之助君　田島勝太郎君
濱野徹太郎君　中亥歳男君
吉川吉郎兵衛君　平川松太郎君
山本厚三君　戸井嘉作君
中山福藏君　眞鍋儀十君

金融合理化ニ關スル法律制定ニ關スル建議案
提出者
三上英雄君　世耕弘一君
小笠原三九郎君　助川啓四郎君
（以上三月二日提出）

馬產振興ニ關スル建議案
提出者
大石倫治君　三善信房君
横山泰造君　田子一民君

豐川改修促進ニ關スル建議案
提出者
大口喜六君　近藤壽市郎君
（以上三月四日提出）

一議員ヨリ提出セラレタル質問主意書左ノ如シ
朝鮮ニ於ケル司法權振肅ニ關スル質問主意書
提出者　風見章君
（以上三月二日提出）

社會不安ニ關スル質問主意書
提出者　安藤正純君
綱紀問題ニ關スル質問主意書
提出者　津雲國利君
米國ニ於ケル排日問題ニ關スル質問主意書
提出者　岸衞君
（以上三月四日提出）

一去二日岡田內閣總理大臣ヨリ左ノ通發令アリタル旨ノ通牒ヲ受領セリ
社會局書記官　北岡壽逸
第六十七回帝國議會內務省所管事務政府委員被仰付

一去二日常任委員補闕選擧ノ結果左ノ如シ
第一部選出
豫算委員　加藤久米四郎君（東武君補闕）

一去二日常任委員理事補闕選擧ノ結果左ノ如シ
建議委員
理事　佐藤庄太郎君（理事立川太郎君本日理事辭任ニ付其ノ補闕）
理事　三上英雄君（理事庄晋太郎君本日理事辭任ニ付其ノ補闕）

一去二日議長ニ於テ選定シタル委員左ノ如シ
朝鮮事業公債法中改正法律案（政府提出）委員
松山常次郎君　畑桃作君
森田福市君　星島二郎君
寶岡半之助君　吉田精明君
堤康次郎君　豐田豐吉君
栗原彥三郎君

札幌軌道株式會社及矢作水力株式會社所屬軌道ノ經營廢止ニ對スル補償ノ爲公債發行ニ關スル法律案（政府提出）外一件委員
名川侃市君　門田新松君
佐藤洋之助君　岡田伊太郎君
丸山浪彌君　平井信四郎君
清瀨規矩雄君　綾部健太郎君
渡邊與七君　永田良吉君
小島智善君　山本厚三君
清水德太郎君　武富濟君
末松偕一郎君　木檜三四郎君
井上剛一君　小池四郎君

一去二日ニ於ケル特別委員ノ異動左ノ如シ
政府貸付金處理ニ關スル法律案（政府提出）委員
辭任平川松太郎君　補闕戸井嘉作君
辭任星廉平君　補闕野方次郎君
借地借家調停法中改正法律案（藤田若水君外四名提出）外六件委員
辭任伊禮肇君　補闕風見章君
衞生組合法案（田中純四郎君外二名提出）外四件委員
辭任後藤俗君　補闕佐藤庄太郎君

一去二日議長ニ於テ辭任ヲ許可シタル常任委員左ノ如シ
第八部選出豫算委員　原口初太郎君
第二部選出決算委員　伊豆富人君
第四部選出決算委員　江藤源九郎君
第七部選出決算委員　岩切重雄君
第七部選出決算委員　百瀨渡君
第八部選出建議委員　鈴木義隆君

一昨四日岡田內閣總理大臣ヨリ左ノ通發令アリタル旨ノ通牒ヲ受領セリ
大藏書記官　谷口恒二
第六十七回帝國議會大藏省所管事務政府委員被仰付
商工書記官　岸信介
同　新倉利廣
第六十七回帝國議會商工省所管事務政府委員被仰付

一昨四日常任委員補闕選擧ノ結果左ノ如シ
第八部選出
豫算委員　西岡竹次郎君（原口初太郎君補闕）
第二部選出
決算委員　森峰一君（伊豆富人君補闕）
第四部選出
決算委員　小池四郎君（江藤源九郎君補闕）
第七部選出
決算委員　原吉郎君（岩切重雄君補闕）
第七部選出
決算委員　清寛君（百瀨渡君補闕）
第八部選出
建議委員　沖島鎌三君（鈴木義隆君補闕）

一昨四日議長ニ於テ辭任ヲ許可シタル常任委員左ノ如シ
第四部選出豫算委員　藤井啓一君

一昨四日委員長及理事互選ノ結果左ノ如シ
朝鮮事業公債法中改正法律案（政府提出）委員
委員長　松山常次郎君
理事　森田福市君　豐田豐吉君
札幌軌道株式會社及矢作水力株式會社所屬軌道ノ經營廢止ニ對スル補償ノ爲公債發行ニ關スル法律案（政府提出）外一件委員
委員長　名川侃市君
理事　平井信四郎君　渡邊與七君
清水德太郎君

一昨四日ニ於ケル特別委員ノ異動左ノ如シ
度量衡法中改正法律案（東武君外三名提出）外二件委員
辭任福井甚三君　補闕伊藤皆次郎君

○議長（濱田國松君）　是ヨリ會議ヲ開キマス、質問第一、社會不安ニ關スル質問ヲ許可致シマス――提出者安藤正純君

一　社會不安ニ關スル質問（安藤正純君提出）

社會不安ニ關スル質問主意書
右成規ニ據リ提出候也
昭和十年三月四日
提出者　安藤正純

社會不安ニ關スル質問主意書
近時頻發スル非合法的行爲ニ對スル政府ノ所見如何
右及質問候也

（安藤正純君登壇）

○安藤正純君　私ハ近時世相ノ險惡ニ伴ヒマシテ、頻々發生スル所ノ社會不安ノ現狀ニ關シテ、政府ガ如何ニシテ社會ノ治安ヲ維持シ、國民ヲシテ安ンジテ其業務ニ忠實ナラシムルコトヲ得ルカ、而シテ又之ニ對シテ政府ガドレダケノ熱意ヲ有ッテ居ルノデアルカト云フコトニ付キマシテ、已ムヲ得ズ玆ニ質問ヲ發シマシテ、總理大臣、內務大臣、司法大臣、並ニ陸海軍兩大臣ヨリノ御答辯ヲ要求スル者デアリマス

第一ニ質問致シタイコトハ立憲政治ノ治下ニ於テ、非合法ノ暴力行爲ガ踵ヲ次イデ起ル、是ガ爲ニ或ハ言論ヲ壅塞セラレタリ、或ハ思切ッテ自己ノ天職ニ精進スルコトガ出來ヌコト程恥辱ハナイト思フノデアリマス、洵ニ忌ハシイ觀察デアリマスガ、コヽ數年間我國ハ一視同仁ノ大御心ヲ拜戴スル昭和ノ御代ヲ辱シメテ居ルト言ッテ宜シイ、是レ一ニ輔弼ノ職ニ在ル閣臣ノ責任ト存ジマス、ツイ此間司法當局ハ、不法團結等處罰法律案ノ閣議ノ決定ニ際シマシテ、五・一五事件ヤ血盟團ガ發生シタ當時ニ較ベルト、最近ノ社會情勢ハ稍々平穩ニ復シタ觀ガアル云々ト聲明ヲシテ居リマス、ソンナ樂觀的ナ、暢氣ナ觀察ヲシテ居ル間ニ、驚クベキ眉ヲ燒クノ火ガ足許ニ燃エ來ッテ居ルノデアル、其事ハ後廻シト致シマシテ、最近ノ社會情勢ハ決シテ平穩ニ復シテハ居リマセヌ、寧ロ非合法ノ暴力行爲ハ低下シテ、惡性ニ進行シテ居ルノデアリマス、私ハ試ニ姑ク玆ニ之ヲ檢討致シタイ、近年ノ非合法的暴力行爲ヲ分類ヲ致シマスト、昭和七年ニハ五・一五事件ガアリマシタ、血盟團事件ガアリマシタ、其少シ前ニハ井上、團等ノ諸氏ノ暗殺事件ガアッタノデアリマスルガ、是ハ概ネ政治革命ニ關スル事件デアリマス、而シテ昭和八年以後今年ニ及ンデハ、主トシテ言論機關ニ對スル直接行動デアリマス、即チ昭和九年三月ニハ、時事新報社長タル武藤山治氏ガ暗殺ヲセラレ、其翌四月ニハ、東京朝日新聞ノ幹部タル鈴木文四郎氏ガ襲ハレテ重傷ヲ受ケ、本年二月ニハ、讀賣新聞社長タル正力松太郎氏ガ狙撃セラレテ、是亦重傷ヲ被リマシタ、殊ニ朝日新聞社ニハ、眞晝間ニ白刄ヲ振翳シテ、編輯局ノ眞中ニ踊リ込ミマシテ、鈴木氏以外二人ノ社員ニモ重傷ヲ負ハセタノデアル、又讀賣新聞社デハ、早朝カラ犯人ガ出張ッテ居リマシテ、正力氏ノ出社ヲ待ッテ、出入頻繁ノ玄關口デ、拔身ヲ揮ッテ斬込ンダノデアリマス、天下ノ公器タル新聞社ニ對シテ、斯ノ如ク襲撃シテ、直接行動ヲ爲スト云フコトハ、洵ニ驚クニ堪ヘタル非文明ノ行爲ト言ハナクテハナリマセヌ、尚ホ昭和八年ノ二月ニハ、報知新聞社ヲ襲ウテ、輪轉機ニ砂ヲブッ掛ケタ者ガアリマス、九年ノ三月ニハ、東京日日新聞社デ本山社長ノ告別式ノ最中ニ、暴力ヲ行使シタ者ガアリマス、其年ノ夏ニハ、大阪毎日ノ主筆タル高石氏ノ社論ニ對シテ暴行ヲ働イタ者ガアリマス、其他擧ゲ來レバ澤山アルノデアリマスガ、一々玆ニ申上ゲマセヌ、唯街モ新聞ノ社說ハ、國民輿論ノ指導デアリマス、輪轉機ハ報道機關ノ武器デアル、之ヲ瀆スコトハ文明人トシテ爲スベキ行爲デハナイト共ニ、立憲國民トシテ最モ恥辱デアラネバナラナイ、尤モ新聞ニモ誤ッタル議論ヤ、事實相違ノ記事ガ出ルコトガアリマス、若シサウ云フ主張ヤ記事ニ對シマシテ非難ヲシヨウトスルナラバ、堂々トシテ、合法的ノ途ヲ取ッタラ宜イノデハナイカ、ソレバカリデハナイ、新聞ヤ雜誌ガ外交ヲ論ズレバ、何等ノ檢討モ用ヒナイデ、直チニ軟弱ト非難ヲスル、軍事ヲ批判致シマスレバ、何等ノ吟味モ致サナイデ、忽チ反軍思想ト指彈ヲ致シマス、其極ガ暴力ヲ用ヒ、直接行動ヲ行使スルト云フコトニナリマシテハ、言論機關ハ社會ノ木鐸タル所ノ眞使命ニ邁進スルコトガ出來ナイノデアル、現ニ今日言論機關ガ、軍部ナドニ對スル批評等ニ付キマシテ、往々ニシテ靴ヲ隔テヽ痒キヲ搔クノ觀ガアリマスノハ（拍手）此沒常識ノ脅迫ニ基因スルモノト私ハ存ジマス（拍手）而シテ此消息ハ、獨リ言論機關バカリデハナイ、政治家ニ對シテモ此脅迫ガアル、政治家ハ國策ニ對スル信念ヲ固メマシテ、國家國民ノ爲ニハ何者ヲモ憚ラズ主張ヲ全ウスルノガ其使命デナクテハナラナイ（「ヒヤヒヤ」）然ルニ假ニ軍部ニ對シテ適々公平ノ議論ヲシタリ、忌憚ナキ批評ヲ試ミマスト、忽チ軍部ノ「リスト」ニ載セラレルヤウナ事ガ

假ニアルト致シマスレバ、議會ノ言論ハ自ラ局限セラレルヤウニナリマス、斯樣ナ狀態デハ軍民融和、兵農兩全ノ精神ヲ以テスル議會ノ言論ハ、却テ誤解ヲサレ、或ハ往往ニシテ曲解ヲサレ、軍部ノ爲ニモ、國家ノ爲ニモ、甚シク悲シムベキ事ト存ジマス(拍手)我ガ政友會ハ、恆久ニシテ渝ラザル國軍ノ強大ヲ希望スルモノデアリマス、ソレガ爲ニ國防産業ノ駢進ヲ唱ヘテ居ルノデアル、又精神的ニモ、心底カラ軍民一體ニナラネバナラナイト信ジテ居ル、ソレニハ國民ノ意思ヲ代表シテ、主張スベキ事ハ十分ニ主張ヲシナケレバナリマセヌ、其主張ヲスルト、一モ二モナク軍民離間ト言ッタリ、反軍思想ト誹ッタリスルコトハ、甚ダ宜シクナイ事ト存ズル次第デアリマス(拍手)抑、言論ノ自由ハ憲法ノ保障スル所デアル、之ニ對シ壓迫ヲ加ヘタリ、又ハ不當ノ誹謗ヲ恣ニサセテ置イタリ、更ニ非合法的ノ直接行動ノ跋扈ヲ忽セニシテ置イタリスルコトソレ自體ガ、既ニ立憲政治ノ弛緩ト言ハナクテハナラナイ、此上ニ此傾向ガ尙ホ增長スルニ於キマシテハ、憲政ハ行ハレナイコトニナリマス、須ラク總理大臣、内務大臣竝ニ陸海軍兩大臣ハ、之ニ付テ何ト考ヘテ居ラレルノデアルカ、ハッキリト此點ニ付テ御答辯ヲ願ヒタイノデアリマス、今迄ハ第一ノ質問デアリマス

次ニ第二ニ御尋シタイコトハ、只今マデ私ガズット列擧ヲ致シマシタ事件ヲ通觀致シマスルト、左翼ノ非合法的ノ行爲ハ、昭和七年十月ノ熱海事件ヲ以テ段落ヲ劃シマシテ、ソレカラ以後ハ段々影ガ薄クナッテ居リマス、ソレ以來ハ右翼團體竝ニ右翼思想ノ非合法的行爲ガ主ニナッテ居ルノデアル、私ハ右翼團體ヲ以テ、左翼團體ト決シテ同一視スル者デハナイ、故ニ右翼團體ガ決シテ惡イトハ言ハナイ、唯右翼團體ニハ、純眞ナル愛國精神ニ燃エテ居ル者モ隨分多イ、併シ其中ニハ僞忠君、僞愛國モ可ナリアル(「ヒヤ／＼」)然ルニ政府ニ於キマシテハ、其名ガ愛國トカ、皇國トカ、何カ國家主義ノ名ヲ頭ヘ冠セテ置キマスト、一モ二モナク之ニ眩惑サレテ、其素質ノ檢討ヲ忽セニスル傾ガ儘ニアルノデアリマス(拍手)或ハ又之ヲ知ッテモ、放任シテ居ル傾向ガアル、更ニ進ンデハ往々ニシテ之ヲ利用スル傾キサヘアル(「ヒヤ／＼」拍手)是ハ他ノ眞正ノ愛國團體ノ、恐ラク迷惑ヲシテ居ル所デアリマセウ、又純粹ノ愛國者ハ、斯樣ナ者ト同列ニ見ラレルコトヲ恥辱ト思ッテ居ルニ相違ナイ、政府ハ何故之ニ對シテ嚴重ノ取締ヲシナイノデアルカ、或ハ政府ハ之ニ對シテ、偶然起ッタ事實デ已ムヲ得ナイト御答辯ニナルカモ知レナイ、併シ正力氏ノ襲ハレタ數日前ニ、警視廳カラ讀賣新聞社ニ對シテ、右傾團ガ新聞社ニ對シテ暴行ヲスルト云フ噂ガアルカラ注意ヲナサイト言ウテ來テ居ルデハナイカ、シテ見レバ決シテ是ハ偶然ヂヤナイ、當局デハチャント分ッテ居タ、分ッテ居ナガラ、何故政府ハ此重大ナル事ニ對シテ、徹底的ニ取締ヲ勵行シナカッタノデアルカ、少クトモ政府ハ、似而非ナル愛國團體等ノ取締ニ對シマシテ、大ナル熱意ヲ有ッテ居ラナイト云フコトハ、私ハ確ダト看テ取ッテ居ルノデアリマス(拍手)之ニ對シマシテハ内務大臣カラ責任ノアル御答辯ヲ願ヒタイノデアリマス、昨今道途頻ニ傳ヘテ參リマス事ハ、警視廳ノ綱紀弛緩ノコトデアリマス、帝都ノ治安維持ノ責任ノ衝ニ當ル者ハ警視總監デアル、假令警保局長ニ如何ニ權力ガアラウガ、ドンナニ偉カラウガ、直接ノ責任者ハ警視總監ヂヤナイカ、然ルニ現在ノ警視總監ハデス、現在ノ警視總監ノ外ニ實權者ガアッテ、殊ニ警視廳管轄ノ人事ノ異動ナドニ至ッテハ、殆ド其警視廳外ノ實權者ノ手ニ依ッテ行ハレテ居ル、隨テ廳内ハ緊張ヲ缺キマシテ、口善惡ナキ輩ハ、今ニ又何カ起ルダラウト呟ク聲ガ頻々ト廳外ニ漏レテ居ルノデアリマス、是ハ帝都ノ社會不安ノ今日、容易ナラヌ消息ヲ傳ヘルモノデアル、而シテ此事ハ、單ニ道聽塗説バカリデハアリマセヌ、現ニ廳内カラサヘ此消息ガ傳ッテ來テ居ル、ソレニ對シマシテ内務大臣ガ御答ニナリタイトスルナラバ、答ヘテ下サイ、併シ恐ラク御答ニナッテモ、ソレハ表面的ノ御答辯ニ過ギナイダラウト思フ、私ハソンナ形式一片ノ御答辯ヨリハ、退イテ冷靜公平ニ御考下スッタ上ニ、肅正スベキ事ハ速ニ肅正セラレンコトヲ熱望致ス次第デアリマス

第三ニ質問ヲ致シタイ事ハ、思想問題ニ對スル總理大臣以下政府ノ人達ノ考方デアリマス、私ハ現在ノ政府ニハ、此考方ニ付テ一種ノ錯誤ガアルノヂヤナイカト思ッテ居ル、左傾ノ思想、殊ニ極左ノ思想ガ我ガ國體ヲ覆滅シ、我ガ國民精神ニ背馳シ、我國ノ醇風美俗ト倒行逆施シテ居ル精神デアリマスルカラ、極左ノ思想ハ、我國ニ於テハ到底容ルベカラザルモノタル事ハ言ヲ俟チマセヌ、ダカラ是ハ徹底的ニ彈壓ヲシナクテハナラナイ、併シ極右ノ思想ハ、頑冥固陋デアリマシテ、我ガ國民ノ通有スル所ノ近代精神ト合致ヲシテ居リマセヌ、勿論極左ノ思想ノヤウナ、我國ノ國本ニ背クコトハアリマスマイガ、發達シタル我國ノ道德竝ニ社會情勢ニハ順應シテ居リマセヌ、卽チ　陛下ノ大御心ニハ副ウテ居ラナイノデアリマス(拍手)此極右ノ思想系統ノ上ニ建立セントシテ努力ヲシテ居ルノガ「フアッシズム」デアリマス、獨裁政治デアル、然ルニ世人往々ニシテ其思想ノ體系ヲモ究メナイデ、徒ニ之ニ附和雷同セントスル者ガ幾部分デモアルト云フノハドウ云フモノカ、此主義ノ根本觀念ガ、日本國民ノ本能的意識ノ潛在ニ、一角觸レテ居ルカラデアラウト思フ、併シソレバカリデハアリマセヌ、我ガ國民カラ最大ノ信賴ヲ受ケテ居ル階級ガ、其背景デアルノダト思込ンデシマッテ、甚シキニ至ッテハ其國民信賴ノ階級ガ「フアッショ」ノ本尊デアルカノ如クニ誤認シテ居ル所ノ結果ダラウト思フノデアリマス(拍手)只今言ヒマシタ國民カラ最大ノ信賴ヲ受ケテ居ル階級ト云フノハ、言フマデモナク陸海軍部デアリマス、軍部ガ「フアッショ」ノ本尊デナイコトハ勿論デアル、併シ國民ノ一部カラ其背景ノヤウニ見ラレルコトハ、軍部ノ一角ニソレニ類似シタヤウナ意見ヲ有ッテ居ル人ガアルカラデハナイカト思フ(拍手)是ハ軍部トシテハ迷惑至極ノコトデアリマセウ、又一部ノ國民ダケノ間ニデモ、左樣ナコトヲ思込マシテ置キマスコトハ、蟻螻ノ一穴ハ遂ニ長堤ヲ崩スノ杞憂ガアリマスカラ、私共ハ努メテ平生軍部ニ對スル國民ノ、此誤ッタル解釋ヲ矯正致シテ居ルノデアリマス、併シ私共バカリデハナイ、當ノ誤解ヲ受ケテ居ル軍部ニ於テモ、今後ドウカ率先シテ之ニ努力ヲセラレ、一日モ早ク國民ニ其誤謬ノ認識デアッタト云フコトヲ徹底セシメルヤウニ御願ヲ致ス次第デアリマス、私ノ此意見ニハ間違ハナイ筈デアル、左右孰レカニ片寄ルト云フコトハ、天地ノ公道ガ之ヲ許シマセヌ、極端ナル左右ニ片寄ルコトガ、遂ニ國運ヲ傾ケルト云フコトハ、古來歷史ノ明徵スル所デアリマス、殊ニ我國三千年ノ傳統ハ、明ニ之ヲ許シマセヌ、畏多クモ　今上陛下ガ昭和元年十二月二十八日、朝見ノ御儀ノ勅語ノ中ニ於テ「我國ノ國是ハ日ニ進ムニ在リ日ニ新ニスルニ在リ而シテ博ク中外ノ史ニ徵シ審ニ得失ノ迹ニ鑒ミ進ムヤ其ノ序ニ循ヒ新ニスルヤ其ノ中ヲ執ル是レ深ク心ヲ用フヘキ所ナリ」斯ノ如ク宣ハセラレマシテ、其中ヲ執ルト云フコトヲ以テ、我國ノ國是ト示シ給ウテアルノデアリマス、綸言汗ノ如シ、ハッキリトシタ此朝見ノ御宣示ハ、左傾右傾孰レモ郤ケテ、中正ヲ執リ給フ所ノ國是ヲ御示シニナッタノデアリマス、殊ニ國民ノ上ニ立ッテ政治ヲ行フ所ノ閣僚諸公竝ニ　陛下ノ尊敬スベキ國軍ヲ率ユル所ノ軍部ノ幹部ハ、大信念ヲ茲ニ確立シテ政治ニ當ラナケレバナラナイト思フノデアリマス、私ガ特ニ此思想問題ニ論及致シマシタコトハ、最近國内ノ形勢ニ憂フベキ點ガ少クナイ、殊ニ國内ノ治安ヲ維持シ、社會不安ヲ根柢ヨリ除却セントスルニ當ッテハ、此根本的ノ指導方針ヲ立テナケレバナラヌト思ウタカラ、斯ノ如キコトヲ申上ゲタ次第デアリマス、私ガ述ベマシタ此意見ニ對シ、何等カノ別箇ノ御意見ガアリマスカ、ソレトモ又確ト私ノ所見ヲ御認メデアリマスカ、總理大臣、内務大臣、司法大臣、陸軍大臣、海軍大臣カラ、ドチラカハッキリト御答辯ヲ願ヒタイ次第デアリマス

第四番目ニ御尋ヲ致シタイノハ、我國ノ共産黨ト云フモノハ、佐野學竝ニ其殘黨ノ昭和三年三月ノ三・一五事件、昭和四年四月ノ四・一六事件、昭和五年二月ノ二月事件、此三回デ總計千三百二十五人ノ起訴ヲ見マシテ、第一次共産黨ハ亡ビマシタガ、更ニ田中清玄等ノ第二次共産黨ガ成立ヲシ、是ガ昭和五年七月ノ檢擧デ崩壞ヲ致シマシタ、所ガ更ニ風間丈吉等ガ「ソヴィエト」聯邦カラ歸リマシテ、第三次共産黨ヲ結成ヲ致シマシタ、是ガ昭和七年十月三十日ノ熱海事件ヲ初メト致シマシテ、三府十八縣ニ亙リ二千二百人ヲ檢擧シ、是デ我國ノ共産黨ハ全ク覆滅ヲシテシマッタノデアリマス、併シ茲ニ注意スベキコトハ、ソレカラ以來地下ニ潛ッテ、潛行運動ヲシテ居ル所ノ是等ノ殘黨デアル、果シテ是等ノ者ト一緒カ別カハ知リマセヌガ、右翼ニ「カモフラージュ」ヲ致シマシテ、右翼ノ假面ノ下ニ左翼ノ思想ヲ各方面ニ實現セントシツヽアル事實ガアリマス、而モ之ニ依ッテ容易ナラヌ由由シキ大事件ガ策謀致サレツヽアルノダ、當局政府ハ之ニ對シテ何ト御考ニナッテ居リマスカ、果シテ政府ハ右翼ノ或者ニ對スル眼光紙背ニ徹スル見方ヲシテ居ラレルノカドウカ、右翼ノ取締ニ政府ガ緩慢デ、時トシテハ之ヲ看過シ、時トシテハ之ヲ放任シ、或ハ時トシテハ之ヲ利用セントスルヤウナ政府當局ノ態度ヲ見マシテ、國家ノ爲衷心カラ之ヲ憂ヒ、國民ニ代ッテ私ガ此處ニ政府ニ忠告スルノハ此爲メデアリマス、徒ニ議會ノ答辯ニ當座ヲ瞞過シ、自己ノ責任遁レヲ爲スヤウナ、ソンナ生優シイ問題デハナイ、私ハ斯ウ云フ問題ヲ提ゲテ敢テ當局ヲ苦メヨウト云フ、ソンナ趣意デハ決シテナイノデス、政府モ吾々モ、共ニ國家ノ爲ニ憂ヘナケレバナラヌカラ、此席上ニ於テ之ヲ申上ゲタ次第デアリマス

第五ニ御尋ヲ致シタイノハ、官僚政治家ノ祕密政治デアル、由來官僚ト云フモノハ、隱密ノ間ニ事ヲ運ビマシテ、兎角ニ公明ノ態度ヲ缺ク癖ガアルノハ、洵ニ遺憾千萬デアリマス、言論ニ對スル對策ニ付キマシテモ矢張同ジ態度デアル、動モスレバ言論ヲ封ジマシテ一時ヲ糊塗シ、祕密ガ保タレタコトヲ以テ政治ノ成功トシテ居ル、實ハソンナ事ハ時代ニ遺サレタ所ノ前世紀ノ遺物政治デアル、今日ノ政治ハ、言論ノ批判ノ下ニ明ルイ行キ方ヲシナケレバ、近代ノ精神ニハ合致ヲ致シマセヌ、今ノ政府ハ唯彌縫姑息ノ遣方ヲシテ、少シモ大局ニ著眼ヲシテ居リマセヌ、是ガ責任ヲ有スル内務大臣ニハ御答辯ヲ願ヒタイノダガ、只今申上ゲマシタ口先バカリノ、誠意ノナイ答辯ハ實ハ有難クナイ、本當ニ肚ノ中ニ浸ミ込ンデ考ヘテ貰ヒタイ、併シ一寸順序トシテ簡單ニ統計ヲ申上ゲテ見タイ、私ハ詳シイ統計ヲ持ッテ居リマスガ、時間ガ掛リマスカラ左樣ナコトハ申上ゲマセヌ、唯昭和九年ノ一月カラ十二月ニ至ル迄ノ記事差止ヲ見マスルト、新聞ヤ雜誌ニ參リマシタ記事差止ヲ見マスルト、軍事外交ニ關スルモノガ五十二件、思想犯罪ニ關スルモノガ二十一件、其他一般ガ十八件、全體デ九十一件、斯ウナッテ居リマス、併シ實ハ私ハ時間ガナイノデ詳シク之ヲ調ベルコトガ出來ナカッタ、他カラ取寄セタノニ依ルト、私ノ此統計シタノハ少シ拔ケテ居ルヤウナノデス、モウ一ッ他カラ取寄セタノヲ見マスト　モットアル、併シ此處ヘ參リマス間ニ時間ガ無クテ、詳シクソレヲ調ベテ參ルコトガ出來マセヌデシタ、併シ之ニ依ッテモ是ダケノ數字ガ擧ッテ居ルノデアリマス、一番軍事ニ關スルコトガ多イ、常識カラ判斷ヲ致シマスト、記事ノ禁止ヲスル程ノ値打モ何モナイ事ニ、徒ニ禁止ヲ致シテ居リマス、斯ウ云フコトハ甚ダ喜バシイ現象デハナイノデアリマス、殊ニ昨年滿洲機構ノ改革問題ガ起リマシタ時ニ、隨分サウ云フ記事ノ禁止ガ行ハレテ居ル、滿洲ノ發官代表ガ十四名カ參リマシテ、諸方ヲ歷訪致シマシタ、其時ニ方々ノ役所ヘ行ッテ話ヲシタリ、陳情ヲ致シタリ

REEL No. A-0559
0017
アジア歷史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

シタ、其記事ヲ或ル新聞ガ掲ゲタト云ッテ、早速禁止ニナッテ居リマス、役所ノ中デ白日堂々陳情ヲシタコトヲ禁止スルト云フヤウナコトハ、ドウモ考ヘ得ラレナイコトデアリマス、昨年ノ秋ニ於キマシテ、所謂第二ノ五・一五事件ト云フヤウナモノガ起ッテ居リマス、併シソレハ全部葬ラレテシマヒマシテ、一般國民ニハ何等傳ッテ居ラナイノデアル、何故斯ウ云フコトヲ輪廓ダケデモ明カニシテ、國民ノ疑惑ヲ解クト共ニ、國民ニ批評ヲ仰ガナイノデアルカ、秘密ニシテ隠シテ置クカラ、ア、云フ事ヂヤナイカ、斯ウ云フ事ヂヤナイカ、或ハ針小棒大ニ、或ハ無イ事ガ有ル事ノヤウニ傳ハリマシテ、國民ノ疑惑ヲ增大ヲシ、疑惑ハ疑惑ヲ生ミ、群疑ハ群疑ヲ孕ミマシテ、種々ノ臆說トナッテ、其結果社會ノ不安ヲ醸成スルノデアリマス、隨テ是ガ又私ガ質問ヲシテ居リマス所ノ問題タル治安維持、社會不安ト云フコトニ對シマシテ大ナル關係ガアルノデアリマス、之ニ對シマシテ當局ノ御所見ヲ伺ヒタイ、併シ此機會ニ於テ私ハ一應言論機關ニモ希望ヲ申シテ置キタイコトガアリマス、言論機關程、今日ノ世ノ中ニ於テ重要ナルモノハアリマセヌ、殊ニ今日ノ政治ヲ行フノニ於キマシテ、アノ報道機關ガアリ、アノ批評機關ガアルカラ、吾々ノ國民政治ハ最モ公明ニ步イテ行クコトガ出來ルノデアリマス、吾々ハ此言論機關ニ對シマシテ常ニ甚大ナル敬意ヲ拂ヒ、大ナル理會ヲ有ッテ居ル者デアリマス、隨テ國民ハ新聞ノ書ク所ノ記事論說ガ、彼等ノ頭ヲ定メル唯一ノモノナノデアル、殆ド新聞以外ニ何物モ教ヘテ居ルモノハアリマセヌ、ソレ程影響ガ多イ、ソレ程ニ國民ニ對スル印象力ガ深イ所ノ言論機關デアリマスルカラ、言論機關ニ從事シテ居ル人ハ、平生カラ甚大ナル注意ヲ以テ、又勝レタル所ノ見識ヲ以テ、筆ヲ執リ報道セラレテ居ルコトニ深キ敬意ヲ表シマス、サリナガラ往々ニシテ愼重ヲ缺イテ、或ハ事實ノ相違ヲ來シ、一寸筆先デ書イタコトガ、一步ノ方角ノ違ヒハ遂ニ千里ノ差ヲ生ズルト同ジヤウニ、書カレタ人、書カレタ社會ハ、大ナル迷惑ヲ被ッテ居ルモノガナイトハ言ヘナイノデゴザイマス（拍手）此點ニ付テハ考ノ深イ、責任ノ多イ言論機關ノ當事者ニ對シマシテ、深ク御注意ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、殊ニ最近ノヤウニ色々社會情勢ガ複雜ヲ致シマスト、何處マデガ本當デアルカ、何處マデガ僞リデアルカ、一般國民ハ分ラナイヤウニナッテ、其羅針盤ヲ唯新聞ニ求メ、言論機關ニ求メテ居ルノデアリマス、ソレ程政治家ニ賴ラレ、實業家ニ賴ラレ、教育家ニ賴ラレ、一般國民ニ賴ラレテ居ル所ノ言論機關デアリマスカラ、此上トモ御注意ヲ御願ヲ致シ、國家社會ノ爲ニ貢獻セラレンコトヲ、私ハ此壇上カラ御願ヲ申上ゲルノデゴザイマス

是ハ言論機關ニ對スルコトデアリマスガ、政府ハ私ガ只今マデ簡單ニ申上ゲマシタ五箇條ノ質問ニ對シマシテ、ドウゾ短クテモ宜イカラ、好イ加減ナコトヲ言ハナイヤウニシテ貰ヒタイ、好イ加減ナコトヲ言ッテ胡麻化サレルコト程不快ナコトハアリマセヌ、私ハ何モ無理ニ政府ヲ追究シテ、ドウショウト云フヤウナ考ヲ以テ今日出タノデハナイ、本當ニ此問題ハ國家ノ爲メ、國民ノ爲メ重大問題ダト思ヒマスカラ、御考ニナッテハッキリト眞實ナルコトヲ御答辯アラシコトヲ希望致ス次第デアリマス（拍手）

（國務大臣後藤文夫君登壇）

○國務大臣（後藤文夫君）　安藤君ノ御尋ニ御答ヲ致シマス、近年非合法ノ行動、暴力行爲等ガ屢々起リマシタコトハ、洵ニ國家ノ爲ニ深憂ニ堪ヘナイコトデアリマシテ、警察當局等ニ於キマシテハ、先年來其爲ニ出來ル限リノ力ヲ盡シ、各機關連絡ヲ取リマシテ、斯ウ云フ事態ヲ防グコトニ努メテ參ッタノデアリマスルガ、尙ホ近時ニモ其事例ヲ見マシタコトハ、洵ニ遺憾ニ存ジマスル、只今ニ於キマシテモ、出來得ル限リノ努力ヲ致シテ參ッテ居リマスルケレドモ、尙ホ今後一層力ヲ傾ケマシテ、警察ハ出來得ル限リ斯ル非合法ナ、暴力的ナ行爲ガ發生シマセヌヤウニ努メタイト考ヘテ居リマス、如何ナル動機、如何ナル事情カラ起ルニ致シマシテモ、苟モ非合法ノ行動ニ出デ、暴力行爲ニ出ルコトハ、許スコトノ出來ナイコトデアルト考ヘマス、警察ノ力ノ及ビマスル限リハ之ヲ防ギ、社會ノ人心ヲ安定セシムルコトニ努メタイト考ヘテ居リマス、各種ノ團體ノ中デ色々ト立派ナ標榜ヲシテ居ルケレドモ、其實ハサウデナクシテ、面白クナイモノガアルノデハナイカ、ソレニ對シテ眼光紙背ニ徹セザルモノガ警察ニナイカト云フ御注意デアリマス、是等ノコトニ付キマシテモ、警察ハ出來ル限リ其表裏ノ關係ヲ見マシテ、美名ヲ揭ゲテ、實ハ非合法ナ面白クナイコトヲ致ス者ニ付テハ、勿論注意致サナケレバナラヌノデアリマス、是モ警察ノ力ノ及ブ限リハ社會ノ不安ヲ除キ、我ガ國民ノ行動ガ公明正大ニ、此聖代ニ於テ合法的ナ、合理的ナ道ヲ踏ンデ、各々其思フ所ヲ世ノ中ニ實現スルヤウニ努メルヤウニ導イテ參ラナケレバナラヌト考ヘテ居リマス、尙ホ全體ノ思想ガ、獨リ左翼的ナ思想ト云フダケデナク、色々ナ方面カラ動搖ヲ來シテ居ルト云フ心配ガアルト云フコトデアリマス、是ハ我國ノ內外ノ情勢、又國內ノ各種ノ事情ノ變遷ガ然ラシムル點ガアルト思ヒマス、之ニ對シテハ獨リ直接治安ノ維持ニ當ル所ノ第一線ノ仕事ダケデハ聞ニ合ヒ兼ヌル所ガアリマス、國政其他一般ノ事ニ當リテ、又國民ノ衷ニ立ツ人達ガ、ソレ〴〵斯ウ云フコトヲ心配ヲ致シテ、今日ノ我國ノ思想ノ不安動搖ヲ防イデ、國民ノ嚮フ所ヲ明ニシテ、國民ノ步調ガ一ツニナッテ進ミマスヤウニ、努力致スコトガ肝腎デアラウト思ヒマス、尙ホ極左ノ思想ヲ有ッテ居ル者ガ、其考ヲ變ヘタト稱スルケレドモ、實ハ假面ヲ被ッテ、極左ノ考ヲ少シモ變ヘナイデ動イテ居ルヤウナ者ガアリハセナイカ、サウ云フ點ニ注意ガ透徹シナイヤウデハイカヌノデハナイカト云フ御注意デアリマシタ、是等ノ實際ニ付テ能ク見分ケセヌケレバ、中々判斷ノムツカシイ問題デアラウト思ヒマス、併ナガラ極左ノ考ヲ有ッテ居ッタ者ガ其考ヲ改メテ、我ガ國體、我ガ國民精神ト云フモノニ返ッテ參ッテ、ソレヲ基調ニシテ進マウ、斯ウ云フコトニ本當ニ相成ッタナラバ、ソレハ其方向ヘト善導シテ參ラナケレバナラヌト思ヒマスル、併シソレガ實際ハサウデナイト云フコトデアレバ、餘程注意シナケレバナラヌコトデアルト思ヒマス、是等ノコトニ付キマシテハ、今後モ十分ナル注意ヲ怠ラナイコトニ致シタイト考ヘマス、尙ホ言論ノ自由ノコトニ付テ御話ガゴザイマシタ、記事ノ差止ガ非常ニ多イ、是ハ先年來新聞紙ノ記事等ノ差止ガ多クナッテ居リマスコトハ事實デアリマス、昨今特ニ殖エテ居ルト云フ風ニハ考ヘマセヌ、滿洲事變勃發以來、軍事外交、各種ノ問題ガ起リマシタ爲ニ、自然記事差止等ガ增加シテ參ッテ居ルノデアリマス、併ナガラ成ベク事態ヲ公明ニ國民ニ知ラシメ、國民ニ用意ヲサセルト共ニ、又一面ニハ國民ノ批判ガ行ハレルヤウニ致スト云フコトハ、方針トシテハ洵ニ左樣アラネバナラヌト思ッテ居リマス、記事差止等ノコトモ、其場合々々ノ實際ノ事情ニ卽シテ行ッテ居ルノデアリマシテ、概ネ此ハ已ムヲ得ザルニ出デテ居ルコトデアルト申サナケレバナラヌノデアリマス、在滿機關ノ改革問題、又昨年ノ秋ニ起リマシタ事件ト言ハレテ居リマスル事柄ニ付テ、差止ガ行ハレテ居ルト云フコトニ付テノ御話ガアリマシタガ、在滿機構ノ場合ニ於キマシテモ、一般ノ人心ヲ酷ク煽動シテ、不穩ノ行動ニ出デルヤウナコトニナル言動ニ付テソ記事ノ差止ヲ致シタノデアリマス、其餘ノ事ヲ、非常ニ澤山差止ヲシタト云フヤウナコトハゴザイマセヌ、又刑事事件等ニ關シマスル事柄、事ノ審理中ニ屬スルモノハ、之ヲ差止メテ居ルヤウナ譯デアリマス、昨年ノ秋ノ事件ト云フ御話ノアリマシタ事柄モ左樣ナ次第デ、事柄ハ審理中ニ屬シテ居ル爲ニ差止メテアルト云フヤウナ次第デアリマス

之ヲ要シマスルニ時勢ノ色々ナ變化ノ爲ニ、諸種ノ不安ノ原因ガ起ッテ來ルト云フ事柄ハ、私モ安藤君ト等シク國家ノ爲ニ憂ヲ致ス者デアリマス、是ガ爲ニ當局ト致シマシテハ、人心ノ不安ヲ除イテ、世ノ中ヲ明ルクスルヤウニスル爲ニ、出來ル限リノ力ヲ致サナケレバナラヌト考ヘテ居リマス、先程警察ノコトニ付キマシテ、殊ニ警視廳ノコトニ付キマシテ一言御話ガアリマシタガ、是ハ何カノ誤リ傳ヘラレタ話デアラウカト思ヒマス、帝都ノ治安ヲ維持スル上ニ於キマシテ、警視廳ト云フモノハ非常ニ重大ナル責任ガアル、此警視廳ヲ統轄スル警視總監ノ威信ト云フモノハ、確立シテ居ラナケレバナラヌコトヲ私ハ深ク信ズルノデアリマス、隨テ警視廳ノ人事等ノコトニ付キマシテモ、警視總監ハ其第一次ノ責任者デアリマス、警視總監ガ全責任ヲ先ヅ有チマシテ事ニ當ルノデアリマス、警視總監以外ニ、他ノ實權者ガアッテ云々ト申スヤウナコトハ――監督ノ廳序ノ系統カラ私共モ監督者デアリマス、サウ云フ誤解ガ他ニアッテ、警視總監ノ威信ヲ疑ハシムルヤウナコトヲ申ス者ガアリマスルナラバ、ソレハ全ク誤リデアリマス、是ハドウカ其誤解ヲ持ツ人々ガナイヤウニ致シタイモノデアルト考ヘマス、又若シ今日萬一サウ云フ噂ガアルト致シマスレバ、ソレハ時ヲ經ズシテ私ハ解消スルコトデアラウト思ヒマス、斯ノ如キコトハ警視廳ノコトダケニ關シマスケレドモ、帝都ノ治安ヲ維持スル上ニ於テハ、洵ニ重大ナ問題デアリマスルノデ、若シカサウ云フコトヲ何カ御耳ニサレテ居ルモノデアルト致シマスルナラバ、私ハ決シテサウ云フコトノゴザイマセヌト云フコトヲ此處デ明ニ申上ゲテ、又オ互ニサウ云フコトニ依ッテ、帝都治安ノ事ニ付テ、不安ヲ一般ガ懷クヤウナコトノナイヤウニ、御協力ヲ願ヒタイト考ヘルノデアリマス、之ヲ以テ一應御答ト致シマス（拍手）

（國務大臣小原直君登壇）

○國務大臣（小原直君）　安藤君ノ政府ニ對スル御質問ノ中、私ノ御答致シマスル分ハ、主トシテ犯罪ノ處理ニ關スル問題デアリマス、安藤君モ申サレマシタガ如ク、昭和五六年以來ノ、我國ニ於ケル國民生活ノ不安ニ伴フ民心ノ不安定ヨリ生ジマスル各種重要ノ犯罪ノ頻發致シマシタコトハ、洵ニ國家ノ爲ニ遺憾ニ存ズル次第デアリマス、政府ニ於キマシテハ、犯罪ノ發生致シマスル毎ニ、之ニ對シテハ適當ナル處置ヲ執ッテ參ッタノデアリマスガ、近時此種ノ社會不安ハ尙ホ減少セザルノミカ、或ハ或ル意味ニ於テ却テ增大スル虞モアルヤウニ存ズルノデアリマス、是等ニ對シマシテハ、司法當局ト致シマシテハ、出來ルダケ犯罪ノ豫防ニ協力ヲ致シ、尙ホ其豫防效ヲ奏セズシテ、犯罪ガ發生致シマシタ場合ニ、之ニ對シテハ司法權ノ許ス範圍ニ於テ、適當ナル處置ヲ執リタイト考ヘテ居ル次第デアリマス、先程御話ニナリマシタガ如ク、左翼思想ノ運動ハ、當局ノ多年ノ努力ニ依リマシテ、近時稍〻其數ヲ減ジタ傾ハアリマスガ、是トテ今以テ容易ニ安心ヲ許サナイ狀態デアリマス、所謂極右思想ト申シマスルモノガ、如何ナルモノデアルカト云フコトハ、中々之ヲ究ムルコトハ困難デアリマスルガ、或ル團體ノ中ニハ、或ハ愛國尊皇ヲ標榜シナガラ、其實各種不逞ノ行動ヲ爲ス者モ尠クナイノデアリマス、是等ニ付キマシテハ常ニ嚴重ナル査察探偵ヲ遂ゲマシテ、犯罪ノ發生ヲ未然ニ防グヤウニ注意シナケレバナラヌト思フノデアリマス、此種ノ犯罪ニシテ若シ發生致シマシタナラバ、司法部ト致シマシテハ、嚴重ナル處置ヲ執ッテ、將來ノ犯罪ヲ豫防スルニ遺算ナキヲ期シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス、極左思想ノ者ガ地下ニ潛入ヲ致シテ、極右思想ヲ倹クカノ假面ヲ冠ッテ、或ル行動ヲ爲ス虞ガアリハセヌカト云フ御心配デアリマス、是等ノコトモ司法當局ト致シマシテハ、關係當局ト能ク密接ナル連絡ヲ取リマシテ、苟モ此種ノ行動ガアリマシタ際ニハ、容赦ナク取締ヲ致シ、犯罪トシテ取扱フベキ事件ニ付キマシテハ、ソレ〴〵適當ナル處置ヲ執ッテ、斯樣ナル思想ノ撲滅ニ努力致シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス、之ヲ以テ御答ト致シマス（拍手）

（國務大臣大角岑生君登壇）

REEL No. A-0559
0018
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

○國務大臣(大角岑生君)　安藤君ノ御質疑中海軍ニ關スル點ニ付テ御答ヲ致シマス、海軍部内ノ軍紀風紀振肅維持ニ付キマシテハ、夙夜深甚ノ考慮ヲ拂ッテ居リマシテ、常ニ正シキ道ヲ履ミ、苟モ矩ヲ踰ユルガ如キコトナキヤウ、絶エズ最善ノ努力ヲ拂ッテ居リマス、各級軍人ハ、御勅諭ノ聖旨ヲ奉體致シマシテ、各〻其本分ニ精進シ、護國ノ大任ヲ全ウセンコトヲ期シテ居ル者デアリマス、尚ホ軍事ニ關スル記事ノ差止ガ多イデハナイカト云フ御尋ガアリマシタガ、是ハ軍事上必要ノ最小限度ニ止メタイト考ヘテ居リマス、冀クハ眞ニ擧國一致、此非常時ノ難關突破ニ對シ、飽マデ正シキ道ヲ履ンデ行キタイト云フコトヲ念願シテ居ル者デアリマス(拍手)

(國務大臣岡田啓介君登壇)

○國務大臣(岡田啓介君)　安藤君ニ御答致シマス、非合法暴力行爲ノ如キコトガ行ハレマスルコトハ、洵ニ悲ムベキコト、思ヒマス、斯ノ如キ行爲ハ嚴重ニ取締リタイト考ヘテ居リマス、又思想ニ於テ國家ノ進運ヲ阻碍シ、國體ノ基礎ヲ危クスルガ如キモノハ、是ハ放任シテ置ケマセヌノデ、之ヲ豫防シ、之ヲ取締ルコトニ遺憾ナキヲ期シタイト思ッテ居リマス、明ルキ政治ヲ行ヘト云フ御意見ニハ御同感デアリマス、私モ中正ニシテ明朗ナル政治ヲ行ヒタイト考ヘテ居リマス(拍手)

○安藤正純君　簡單デスカラ自席カラ御許シ願ヒマス

○議長(濱田國松君)　ドウゾ

○安藤正純君　後藤内相ノ御答辯ガアリマシタガ、私ノ本當ニ聽カウトシテ答辯ヲ求メル所ニハ、大低外レテ居リマス、私ハ今日ノ右翼ノ團體若クハ右翼ノ思想者ニ對スル取締ガ、ドウモ少シ偏頗デハナイカト云フコトヲ縷々言ッタノデアリマス、右翼團體ニモ善イモノハ澤山アルガ、玉石混淆デ、惡イモノガ非常ニ多イ、殊ニ愛國トカ皇國トカ云フ名ヲ冠ッテ、美名ノ下ニ色々ナ事ヲヤルノデスカラ、是ハ國民ノ總テノ階級ガ非常ニ困ルノデス、之ニ對スル政府、殊ニ内務當局ノ取締ハ徹底シテ居ラナイ、殊ニ此間讀賣新聞社長ノ事件ノ如キニモ、前カラ警視廳ガ注意ヲシテ居タニモ拘ラズ、徹底シタ取締ヲシナカッタト云フコトヲ言ッテ居ル、ソレニ對スル御答ハアリマセヌ、ソレカラ又極左ノ思想ガ「カモフラージュ」ヲシテ居ルト云フ、サウシテソレガ非常ナル大事件ヲ醸成スルヤウナ禍根ニナルト云フコトヲ非常ニ憂ヘテ居ル、ソレハ私ハ唯空想デ言ッテ居ルノデハアリマセヌ、アナタガ先程ノ御答ノヤウダトスルト、然ラバ内務大臣ハ私位、外ニ居ル者ガ知ッテ居ルコトスラ知ラナイノデアルカ、知ラナケリヤ怠慢ヂヤナイカ、知ッテ居テ御答ニナラナケレバ、如何ニモ狡イノデハナイカ、斯ウ云フ肝腎ナ點ハ御答ニナッテ居リマセヌ、警視廳ノ綱紀問題ニ付テハ、内務大臣トシテハ只今御答ニナッタ程度ノコトヨリ御答ハ出來マスマイ、ソレハ内務大臣ノ立場ヲ諒ト致シマス、ソレ以上ノ答辯ハ求メマセヌ、併ナガラ帝都ノ治安維持ノ大責任ノアル所ノ警視總監及警視廳デアリマスカラ、十分御注意ト御戒告トヲ望ミマス、再ビ御答辯ヲ求メマシテモ、同ジ形式一片ノ答辯――併ナガラ今日ノ答辯ハ幾ラカ宜カッタカト思ヒマス(笑聲)尚ホ形式一片ノ答辯ニハ滿足ハ出來マセヌカラ、是デ宜シウゴザイマス、海軍大臣ノ御答辯ハ、何カ教科書ヲ讀ンデ居ルヤウナ答辯デ、其通リニ違ヒハナイノデスガ、其通リガサウ行ッテ居ラナイカラ私ガ申上ゲタノデス、殊ニ吾々ハ軍民一體ヲ望ム、軍民一致ヲ望ムンデス、ソレガ動トモスルト軍部ノ誤解ガアッテ、眞正ニ軍民一致ノ事柄、政策、態度、其他ノ事ニ付テ、論及シテ居ルコトガ誤解サレ、曲解サレテ、軍民離間ト言ハレル、軍部ノ「リスト」ニ直グ上ル、サウ云フコトハ軍部自身ガ軍民離間ヲシテ居ルノデアル、是ハ非常ニ嘆ハシイコトデアルト共ニ、國家ノ爲ニ憂フベキコトデアルト云フコトヲ私ガ質問ヲ致シタノデスガ、ソレニ對シテハ御答ガアリマセヌ、併ナガラ是モヤハリ突込ンダ御答辯ハ出來マスマイカラ、是デ宜シウゴザイマス、總理大臣ハ甚ダ誠意ヲ缺イテ居ル、實ハ私ノ質問ハ内務大臣其他ニ對シマスル、直接ニハ治安維持デアリマスカラ、其質問デアリマスガ、實ハモット私ハ大局ニ關スル根本方針ヲ問ウテ居ル、ダカラ特ニ總理大臣ノ御出席ヲ願ッテ御聽キヲ願ッテ居タンデス、アナタハ私ガ縷々述ベタコトヲ御諒解ニナラナイノカ、御理會ガ出來ナカッタノカ、思想問題其他ニ付テ若シ御理會ガ出來ナイトナッタナラバ――御理會ガ出來ナイノナラバ、是ハ重大問題デス、國家ノ根柢ニ横ハル重大問題ヂヤカラ、須ク御研究ヲ是カラ願ハナケレバナリマセヌ、アナタノ今ノ御答辯ハ餘リニ形式ニ失シマス、是モ何レ機會ヲ得マシテ更ニ申上ゲル機會ガゴザイマセウ、本日ハ是デ私ハ宜シウゴザイマス、是デ私ノ質問ハ打切リマス(拍手)

○議長(濱田國松君)　此場合念ノ爲メ申上ゲテ置キマス、林陸軍大臣ハ宮中關係ニ依リ三時過ギ迄出席シ兼ネルトノコトデアリマス――質問第二、綱紀問題ニ關スル質問ヲ許可致シマス――提出者津雲國利君

二　綱紀問題ニ關スル質問(津雲國利君提出)

綱紀問題ニ關スル質問主意書

右成規ニ據リ提出候也

昭和十年三月四日

提出者　津雲　國利

綱紀問題ニ關スル質問主意書

一　在滿行政機構改革問題ニ關シ官紀紊亂ノ事實アリト認ム政府ノ所見如何

二　所謂五十萬元事件ニ關スル政府ノ所見如何

右及質問候也

(津雲國利君登壇)

○津雲國利君　議會ニ於ケル綱紀問題ノ取扱ニ付キマシテ、一部ノ間ニ兎角ノ論議ノアルコトハ私モ承知ヲ致シテ居リマス、併ナガラ眞ニ嚴正公平ナル態度ニ於テ、綱紀問題ヲ議會ニ於テ取扱ハネバナラヌト云フコトハ、今更私ハ説明ノ必要ハアルマイト考ヘマス、併ナガラ事ハ苟モ綱紀ニ關スル問題デアリマス、其及ブ所、其影響スル所、或ハ官吏ノ責任トナリ、國務大臣ノ責任トナリ、其俎上ニ上セラレタ者ハ、或者ハ名譽ヲ毀損セラレ、或者ハ信用ヲ墜シ、或者ハ又人間トシテノ死命ヲ制セラル、ニ至ルコトモアルノデアリマスカラ、此問題ヲ取扱フ者ハ、飽迄モ愼重精査、一言一句モ苟モセザル所ノ心懸ト態度トガ必要デアルト考ヘマス、私ハ眞ニ議員ノ職責トシテ、爲スベキ所ヲ完全ニ爲スト云フ趣旨ニ於テ、嚴正ニ、公平ニ、私ノ力ノ及ブ限リノ調査ヲ遂ゲテ、本日此演壇ニ立ッタノデアリマスカラ、苟モ私ノ言葉ニ獨斷ガアリ、或ハ又根據ナキ推論ガアッテ、其結果故ラニ人ヲ傷ケントスルモノデアルト云フコトガ、明白ニ諸君ニ於テ看取セラレタナラバ、衆議院モ、國民モ、先ヅ私ニ對シテ斷乎タル處置ニ出ラレンコトヲ切望致シテ置キマス、併ナガラ私ノ說ク所ガ條理備ハリ、事實之ニ伴ッテ、正ニ當然デアルト御考ニナラナケレバナラナイ筋デアッテ、尚且ツ之ニ對スル政府當路者ノ答辯ガ誠意ヲ缺イテ、曖昧模稜ニ事件ヲ葬リ去ラントスルガ如キ態度デアルナラバ、私ハ衆議院ノ權威ノ爲ニ、政黨政派ヲ超越シテ、之ニ向ッテ斷乎タル態度ニ出ラレンコトヲ切望シテ置クノデアリマス

先ヅ私ハ在滿機構改革ニ伴フ官紀紊亂ノ問題ニ付テ、御訊ヲスル順序ニ相成ッテ居ッタノデアリマスルガ、其主要ナル答辯者デアル所ノ陸軍大臣ガ、三時過ギマデ御出席ガナイト云フノデアリマスカラ、順序ハ狂フノデアリマスルガ、所謂五十万元事件ニ關スル質問カラ始メタイト考ヘマス、私ハ此質問ヲ取扱フニ付テ、先ヅ五十万元事件ノ解剖ヲ致シマス、其解剖ヲ致シタ上デ、遞信大臣ト、陸軍大臣ト、内務大臣ト、司法大臣ニ對シテ質問ヲ致シマス

五十万元事件ヲ解剖スル、何カ非常ニ大袈裟ナ、ムヅカシイ事ノヤウニ考ヘル者ガアルカモ知レナイノデアリマスガ、是ハ極メテ簡單ナ、容易ナコトデアルノデアリマス、即チ問題ノ受取書ニ署名ヲ致シタ二人ノ事件ノ關係者ノ中、赤塚君ハ二月十一日ニ、東京朝日新聞紙上ニ其談話ヲ發表シ、鶴岡君ハ越エテ二月二十日ニ、萬平「ホテル」ニ於テ聲明書ヲ發表致シテ居ルノデアリマス、此赤塚君ノ談話ト鶴岡君ノ聲明書トノ内容ガ、若モ虛構デアリ、矛盾撞著ガアリ、更ニ其聲明書ト談話トノ間ニスラ、喰違ヒガアルト云フヤウナコトガアレバ、此兩名ノ行爲ニ對シテハ、疑惑ヲ挾ムナト言ハレテモ挾マナイ譯ニハ行カナイト私ハ思フ、其又矛盾撞著ト虛構ノ事實トガ、甚シクバ甚シイ程、此事件ニ對スル一般國民ノ疑惑ハ深イコトモ、亦認メナケレバナラヌノデアリマス、次ニ又初ニ關東軍ノ幕僚ガ疑ヒ出シタ、次デハ陸軍部内ノ少壯將校ガ多數同樣ニ疑ヲ持ッタ、次デハ在鄕軍人ノ間ニ此疑ハ擴メラレタ、是ガ事實デアル、其疑ヲ受ケテ、今ヤ五十万元問題ニ依ッテ、天下ノ疑惑ノ中心トナッテ居ラレル床次遞信大臣ハ……

○議長(濱田國松君)　津雲君、陸軍大臣ガ出席シマシタ

○津雲國利君(續)　過般本會議ニ於ケル山口義一君ノ質疑、豫算總會ニ於ケル小林錡君ノ質疑ニ對シテ、非常ニ興奮セラレテ、唯專ラ斯ル不淨ノ金ハ自分ハ受取ッタ覺エハナイ、斯ウ云フコトヲ主張セラレテ居ルダケデアリマス、仍テ若モ茲ニ床次遞信大臣ニ金ヲ渡シタニ相違ナイト云フコトヲ、責任ヲ以テ言明シ、主張シ得ル者ガ出テ來レバ、床次遞信大臣ニ對スル疑モ、亦濃厚ナラザルヲ得ナイト云フ結果ニナルコトハ明瞭デアルト考ヘマス、仍テ私ハ今述ベタ二點ニ付テ私ノ研究ヲ進メテ見タイト考ヘルノデアリマス、議政壇上ニ於ケル綱紀問題ノ斷案デアリマスカラ、檢事廷ニ於ケル犯罪ノ檢擧トハ、其處ニ性質上自ラ相違ノアルコトハ認メナケレバナリマセヌ、ソコデ先ヅ私ハ順序ト致シマシテ、赤塚君ト鶴岡君ノ聲明書カラ解剖致シマス、少シ餘計ナ手數ノヤウデアリマスガ、結論ヲ得ル上ニ於テ已ムヲ得ナイコトデアルト、御寛容ヲ願ッテ置キマス、此聲明書ト談話ニ依ッテ、赤塚、鶴岡ノ兩君ガ張學良カラ銀五十万元ノ大金ヲ受取ッタト云フコトハ、初メテ確認ヲセラレタノデアリマス、即チ怪文書所載ノ怪寫眞、是ハ此聲明書ト談話ノ發表ニ依ッテ、事實本物ニ相違ナイト云フコトガ裏書ヲセラレタノデアリマス、尚又此五十万元ノ大金ハ、其時ノ時價、邦貨ニ換算ヲ致シテ三十數万圓ニ上ッテ居ッタト云フコトモ、初メテ赤塚、鶴岡君兩名ニ依ッテ確認ヲセラレタノデアリマス、一方過般ノ豫算總會ニ於キマシテ、陸軍當局ハ小林錡君並ニ不肖私ノ質問ニ對シテ、所謂怪文書ニ記載セラレテ居ッタ所ノ、所載サレテ居ッタ寫眞ハ本物デアルト云フコトヲ認メラレタ、寫眞ヲ認メラレル以上、其又寫眞ニ寫ッテ居ル受取書ガ、陸軍ニ存在スルコトヲモ認メラレタ結果ニナルコトニ、陸軍ノ當局ハ異存ハアルマイト思フ、其寫眞ヲ送ル爲ニ發シタ關東軍幕僚ノ電報、之ニ對シテモ陸軍當局ハ、其存在ヲ確認セラレテ居ル、即チ前ニ此赤塚、鶴岡ノ兩君ガ五十万元ヲ受取ッタコト、並ニ其五十万元ハ當時ノ時價ニ換算シテ、邦貨三十數万圓ナルコトヲ認メラレタコト、並ニ陸軍ガ此寫眞ノ存在ト電報ノ存在トヲ事實ニ於テ認メタコトニ依ッテ、此問題ハ一轉シテ架空ノ問題デハナク、實在ノ問題ニナッテ居ルノデアリマス、即チ私ガ此壇上ニ立ッテ、是等ノ實在ノ事實ニ立脚致シテ本問題ヲ解剖シ、本問題ノ解決ヲセネバナラヌ必要ニ迫ラレタ所以デアルノデアリマス、曾テ現内閣閣僚ノ諸公モ、床次サンノ――床次遞相ノ周圍ノ人達モ、銀五十万元受取ッタト、斯ウ云フ事實ガ此議場ニ於テ山口義一君カラ發言セラレタ時ニ、五十万元ト云フガ、ソレハ大金ヂヤナイ、ソレハ奉天票デアッタカラ三万五六千圓ダ、或者ハ又吉林票デアッタカラ二万數千圓ダト、新聞社ノ諸君ヤ議員ノ諸君ニ向ッテ、公然ト

REEL No. A-0559
0019
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

言ハレテ居ッタコトヲ、御記憶ノ方ハ私ハ多カラウト思フ、然ルニ今ヤ事實ハ三十數万圓ニナッテ居ル、今ニナッテ見レバ、其奉天票デアッタトカ、吉林票デアッタトカ唱ヘテ居ッタ者ノ言葉其モノニ、私共ハ疑惑ヲ挾マザルヲ得ナクナル、何ノ爲ノ馬鹿々々シイ宣傳カト……（「ソレハ勝手ナ疑惑ダ」ト呼フ者アリ）勝手ノ疑惑デナイ所ハ追々ニ申上ゲル、尙ホ此金ヲ鶴岡君ハ借款ダト言ッテ居ル、數十万圓ヲ借リテ、簡單ナル受取證ヲ二枚書イテ差入レタト云フヤウナコトハ、日本人ノ間ニハ行ハレナイ常識ダ、金ヲ借リレバ借用證書ヲ出ス、是ダケノ大金ノ借用ニハ、借金ノ契約ガ伴フコトハ、鶴岡君以外ノ者ナラバ誰デモ分ル常識デアルト私ハ考ヘマス、尙ホ鶴岡君ハ、此受取證ヲ出世證文ダト明言シテ居ル、出世證文トハ鶴岡君モ言ッテ居ル通リ、金ガ出來タラ返ス條件、日本デ俗事ニ所謂御貸下サレト云フヤツナンダ、其御貸下サレト云フ趣旨ノ借金ニ差入レラレテアル證書ガ受取證ダ、結局誰ガ考ヘテモ貰受ケタト申上ゲル以外ニハ、私ハ言ヒヤウハナイト思フ、ソレヲ殊更借款ダト言フ、ソレヲ殊更借款ダト抗辯スル所ニ、强辯スル所ニ鶴岡君ノ惱ミガアル、惱ミノアル所ニ疑惑ハアル、之ニ異存ノアル者ハアルマイト思フ、赤塚君ニ言ハセルト、五十万元ハ鶴岡君ガ大豆會社ヲ興ス爲ニ必要ナル金デアッタト、斯ウ言フ、其大豆會社ハドンナ會社デアッタカト聞イテ見ルト、聞カナカッタカラ知ラナイト、斯ウ言フ、苟且ニモ大豆會社ヲ興ス爲ニ五十万元ノ大金ヲ出資サセヨウト、態々滿洲マデ出テ來タ仲介人デアル赤塚君ガ、會社ハドンナ會社ダカ、鶴岡君カラ聽イテ居ナカッタカラ分ラナカッタデ濟ムダラウカ、當ノ赤塚君ニモ分ラナイ會社ナンデアル、其赤塚君カラ話ヲ受ケタ張學良ニ分ル筈ハナイ、然ルニ張學良ハ其分ラナイ筈ノ會社ニ對シテ、アナタノ都合デ合辦ニシテモ宜イト言ッテ居ルト云フコトデアル、人間並ノ常識デ、此論理ハ私ハ考ヘラレマイト思フ、此處ニモ無理ガアル、無理ノアル所ニ疑惑ガ生ズルノハ當リ前ナンダ、赤塚君ガ滿洲デ大豆會社ヲ興ス爲ノ出資ダト言ッテ居ルノニ、一方鶴岡君ノ方ハ、其金ヲ東京ノ正金銀行支店ヘ送金シテ、妻ガ受取リニ行ッテ、自宅ノ金庫ニ收藏シテ、借金拂ヒヤ、選擧費用ヤ、洋行費ヤ、利權運動費ニ使ヒ果シテシマッタト言ッテ居ル、此雙方ノ言フコトガ、雙方トモ事實デアルナラバ、鶴岡君ハ明ニ國際的大詐欺師トナル、赤塚君ハ其手先ニ踊ッタコトニナルノデアルガ、兩名竝ニ兩名ノ家族、其知人ハ、此侮辱ヲ甘ジテ受ケルカ、ソレハ兎モ角トシテ、兩者ノ言フ所ニ非常ナ矛盾ノアルコトハ明瞭ナ事實デアリマス、非常ナ矛盾撞著ノアル所、疑惑ハ濃厚トナルノデアリマス、滿洲デ大豆會社ヲ造ルベク大金ヲ張學良カラ受取ルヤ、直チニ之ヲ東京ヘ送金シテ鶴岡君ノ妻ニ取受ラシテ居ル、勿論其時ハ赤塚君モ鶴岡君モ滿洲ニマダ居ルノデアル、滿洲ニ居リナガラ、此大金ダケヲ東京ヘ送金シタコトガ、既ニヲカシイト諸君ハ御思ヒニナラヌカ、果シテ又此金ガ鶴岡君ノ使フ金デアルナラバ、鶴岡君モ東京ヘ歸ッテカラ銀行デ受取ルヤウナ方法ハアル、是ダケノ大金ヲ女ニ受取ラシテ女バカリノ留守宅ヘ保存サシテ置イタト云フコトニ對シテモ、私ハ理解ニ苦シム點ガアリマス、然ルニ若モ此金ヲ兩名デ受取ッテ、急イデ東京ノ誰カヘ渡ス必要ガアッタノデアルガ、直接其人宛デハ送レナイカラ、鶴岡君ノ妻ニ受取ラシテ、其人ニ渡サシタノデアルト云フコトニスルト、ピタリト符合ヲシテ來ルノガ不思議デハアリマセヌカ、不思議ナ位符合シテ來ル所ニ、人間ノ疑ノ走ルコトヲ、誰モ私ハ無理デアルトハ言ヘマイト思フ、若シ又此金ガ鶴岡君ノ言フ通リ、鶴岡個人ノ自由ニ使ヘル金デアルト云フナラバ、愈々滿洲マデ出掛ケタ赤塚君ガ、一文モ受取ラヌト云フコトモヲカシケレバ、赤塚君ハ其時滿洲デ鶴岡君ト別レテ以來、一度モ會ッタコトガナイト公言シテ居ルノモ、ヲカシ過ギルコトデアリマス、赤塚君ノ談話ニモ、鶴岡君ノ聲明書ニモ、五十万元ヲ受取ッタノハ昭和八年八月デアッテ、新黨倶樂部ハ其前月ニ解散ニナッテ居ルト云フ趣旨ガ特ニ附加ヘテアリマス、蓋シ五十万元ガ、私ハ床次サンニ關係ガナイト云フコトヲ納得セシメル――巧ミニ納得セシメル爲ノ是ハ技巧デアルト私ハ考ヘル、然ルニ事實鶴岡君ガ床次サンカラ手ヲ切ッタノハ、昭和五年ノ總選擧ノ直前デアリマス、ソレハ其當時ノ新聞ヲ御覽ニナレバ直チニ分ルコトデアリマスカラ、御覽ヲ願ヒタイト思ヒマス、床次遞相トノ無關係ヲ表現セントスル苦心スル所ニ、私ニハ疑惑ナキヲ得ナイ、斯ウシタ矛盾ヤ不思議ヲ探ネテ居タラ際限ハアリマセヌ、鶴岡君ノ聲明書ト云ヒ、赤塚君ノ談話ト云ヒ、恐ラク之ニ依ッテ世間ヲ糊塗シ、局面ヲ彌縫シ、事件ヲ曖昧ノ裡ニ葬リ去ラウト云フ、一派ノ策動ニ依ッタモノデアルト思ハレマスルガ、ソレハ全ク無駄ナ努力デアッテ、却テ識者ノ疑惑ヲ深メタコトハ事實デアリマス、卽チ鶴岡君ノ聲明書ト赤塚君ノ談話トニ依ッテ、此事件ニ對スル疑惑ハ愈々益々濃厚トナッテ來タノデアリマス、更ニ又此談話ト聲明書トヲ發スルマデ、兩名トモ所謂地下ニ潜ッテ、全ク行方ヲ晦マシテシマッタ、此事實ニ依ッテ更ニ私ハ世人ノ疑惑ハ深クナッタト思ヒマス

　更ニ最モ注意スベキコトハ、鶴岡君一人デ使ヒ果シタト云フ、此大金ノ使ヒ途デアリマス、鶴岡君ハ昭和三年第一回ノ選擧ニ出タ時ノ負債、其後ノ負債、合セテ十五六万圓ノ返濟ニ充テタト言ッテ居リマス、是ハ全然虛構デアリマス、鶴岡君ハ亡父カラ十數万圓ノ、不動産ヲ主トシタ資産ヲ相續ヲ致シマシタ、相續當時既ニ多少ノ負債ガ付イテ居ッタ、ソレニ鶴岡君ノ政治運動其他ノ負債ガ積リ積ッテ、昭和五年第二回選擧後ニハ、負債ノ方ガ資産ヨリハ稍々大キイト云フノガ實狀デアッタコトハ、御調査ニナレバ直

REEL No. A-0559
0020
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/